

春夏 spring - summer
2016

vol.
18

春風新聞

shumpu shimbun



春風社

Shumpusha Publishing Co., Ltd.

〒220-0044

横浜市西区紅葉ヶ丘 53
横浜市教育会館 3F

TEL (045)261-3168

FAX (045)261-3169

www.shumpu.com

✉ info@shumpu.com

【図書目録】 哲学・思想・宗教 4 / 文芸評論 5 / 文学 6 / 写真・音楽・芸術 6 / 詩歌・俳句 7 / 観光 8 / 環境・自然・健康 8 / 横浜市立大学新叢書 8 / 立教大学人文叢書 8
東洋英和女学院大学社会科学叢書 8 / 総記・辞典・事典 8 / 言語 9 / 心理 9 / 教育 9 / 政治・経済 10 / 社会・歴史 10 / 人類学 12 / シリーズ来たるべき人類学 12
【連載】 日々の風 暮らしのなかの哲学 長谷川宏 4 / 翻訳ピンチ! 中条省平 6 / 帰ってきた mini 大河 しりあがり寿 7 / 英文学にデコピン 阿部公彦 8 / ポストモダンの処方箋 白井聡 10
【コラム】 自著を語る 5 / 横浜 9 / 本屋に行こう 11



視よや、

目を挙げて之を見れば霊天明かなり、

胸を開いて之に触るれば

霊氣清くして福の音を聞く

ことば：『新井奥達著作集』第2巻 32 頁より

写真：塙紘『利根川を往く』（春風社、2016年）83 頁より

対談

三島邦弘 × 三浦衛 (司会 平尾隆弘)

誰に向けての

二〇一六年二月三日、春風社にて、元・文藝春秋社長の平尾隆弘氏を司会にお迎えし、ミシマ社代表の三島邦弘氏と春風社代表の三浦衛が「これからの本作り」をテーマに対談を行いました。その模様をお伝えします。

三浦 今日はよろしくお願ひします。まず、三島邦弘さん、平尾隆弘さんと私の関係から。

三島 私はミシマ社の社長として、次々といろいろな企画や試みをされておられ、参考にさせていただいております。三島さんご自身の一冊目『計画と無計画のあいだ』もおもしろかったのですが、二冊目の『失われた感覚を求めて』のほうが、より切実さや泥臭さを感じ、楽しく読ませていただきました。ミシマ社の「みんなのミシマガジン」に春風社を取り上げていただいたこともあり、「ミシマ社の本屋さん」では春風社の本も扱っていただいています。また、春風社のかかりの本を手がけてくれている装丁家の矢萩多聞さんは、三島さんとも、装丁やその他いろいろな仕事を一緒にされています。これも不思議なご縁ですね。

平尾 隆弘さんは、文藝春秋の社長を二〇一四年六月までされて、今は神戸外国語大学などで教えておられます。私の『出版は風まかせ』の読者カードを「同業の者」と書いて送ってくださったことが縁で、春風社の本をいくつか読んでくださり、東京堂書店で対談をさせていただいたことでもあります。今回の三島さんとの対談も、一つには、平尾さんの提案がもとになっています。というわけで、今日の司会進行は平尾さんをお願いします。

創意と工夫

平尾 お二人が対談すればおもしろいと思つたのは、小規模の出版社で独自の活動をされていること。春風社は定住、ミシマ社は漂泊というか、両者の出版傾向が対照的に見えること。それでいて、お二人とも、今の出版状況に何とかして風穴を開けたい、どうやって読者を発見し、自分たちの好きな出版という仕事をやっていこうかと考えていることですね。

出版産業は戦後半世紀ずっと上り坂で、販売額は約二兆六千億円の九六年がピークでした。日本経済は七〇年代に石油ショックで一度落ち込み、その後回復しています。ところが出版産業のほうは九六年から二十年間ずっと下がりつぱなし。この九六年以後の状況に対して、お二人は創意と工夫を重ねてこられた。

春風社は一九九九年創業、従業員八名、二〇一五年の刊行点数は五十点。処女出版は二〇〇〇年の一月二十四日『知られざるいのちの思想家 新井奥彦を読みとく』です。一方、ミシマ社は二〇〇六年創業で、今年が創立十周年ですね。従業員は約十名。

あがり寿さんの共著でした。直取引の第一弾は内田樹先生の『街場の中国論』です。

そもそも雑誌とは

平尾 三人とも編集者だから、本を通して具体的に話をしましょう。最初にミシマ社の雑誌『ちゃぶ台』から。六千部刷って二千部増刷だそうですね。雑誌とはいっても旧来の雑誌スタイルではなく、単行本のようでもなく、造本はコデックス装です。

三浦 林望さんの『謹訳 源氏物語』もコデックス装ですね。パターと開けるので、読むときに非常に実用的です。

三島 読書という行為を広げること、去年から意識的に取り組んでいて、そこから出てきたのが今回の装丁です。これをデザインした多聞さんは以前にコデックス装を晶文社で一冊やっていますが、このように背をむき出しにするケースはほぼないと思います。大手出版社では取次に受けつけてもらえないでしょう。

験をしています。こういう形は多聞さんしかできなかったと思います。背に「ちゃぶ台」という文字が浮かび上がっているのも、仮説のもとにやりました。製本するまで本当にそうなるか分からず、印刷所と「これは保証できません」「いいです、もうやつちやつてください」とやりとりして。幸いうまく浮かび上がってきました。

三浦 ここは製本したあとでマジックで書いたのかなとも……

平尾 ……思いましたね。「一個ずつ書くの、大変だな」と(笑)。

三島 ミシマ社では、『みんなのミシマガジン』というウェブ雑誌のサポーター制度をやっています。全国にサポーターを募り、現在約三百人のサポーターに、『みんなのミシマガジン』の記事を再編集した非売品の冊子を毎月届けています。冊子では、毎月用紙も表紙も変えて、いろいろな加工技術も実験しています。その中で一度『ちゃぶ台』のような仕様をやったところ評判がよかったので、市販用でやつても喜んでもらえるに違いないと思いました。

平尾 三百人に配布して、コスト的には大丈夫ですか。

三島 サポーターからは年会費二〜三万をいただいています。実を言おうとその冊子に関しては、非売品である代わりにいろいろ実験すること、用紙会社と印刷所から贈与してもらっています。普段で

きない印刷を試してもらったり、そのとき余っているものをもらったり。だから紙もその都度違うんです。『ちゃぶ台』にはその実験が生きています。

平尾 最近のニュースで、「出版販売落ち込み最大、雑誌離れ顕著」とありますが、これは単に本や雑誌が読まれないという問題だけではない。大手出版社にとっては、雑誌広告が入らないことが一番厳しいんです。かつては、文春でいうと、本の出版を百とすると、雑誌売上が百、広告も百、広告は審査して断るくらいでした。平成になってから広告料収入が落ち始め、今では本の出版が百十、雑誌は九十五と健闘しているのに、広告は三十から四十になっています。

三島 『ちゃぶ台』は、そんな状況を前提にして、はなから広告を入れない。一般的な雑誌には不可欠の台割もつからず、目次も最後にきています。

三島 市販用雑誌をいまだに作ったことがなかったの、いわゆる雑誌の概念にとらわれず、そもそも雑誌とは何かを問い直そうとしました。僕が出版社に入った九九年以来、出版は落ち込む一方で、上っていく感覚は一切ありません。出版は、取次に卸して流通という枠をこれまで

三島 雑誌をつくらうと思いついた去年の五月、二週間後の締め切りで会った人たちに毎日依頼しました。枚数も大体でお願いして、区切られた字数から出てくるクオリティとは違う形をとらうと思っていました。原稿が来た順に、この枚数だから何ページくらい、と調整していききました。

平尾 内容でいうと、内田樹先生の講演はすばらしいですね。これを読むだけでもこの雑誌を買った価値があったと思える。

三島 もちろん、外見はあくまでも届け方の問題で、内容のクオリティが維持されていないと出す意味が

常識としてきましたが、従来のモデルのままでうまくいくわけがない、ゼロから立ち上げつくっていくしかないと思つています。

かつてのシステムが制度疲労を起こし、これから人口が減って、低成長が当たり前の時代で出版はどうするのか。雑誌についても、広告を入れて大部数を出すことで成り立っていたこれまでの流れをもう一度問い直し、それでも雑誌にしかできない役割は何かと考え、この『ちゃぶ台』では、雑誌の第一歩である台割を一回なくしてみました。基準は原稿を来た順番に並べることだけです。

三浦 『ちゃぶ台』には、それぞれの内容だけでなく、読み手の自分が記事の並びに脈絡をつけながら読むおもしろさがありました。

三島 それはうれしいですね。現状の編集法が全てではなく、未知の編集があつて、そういう編集の仕方ひとつで、読書は実はもっと幅広くなるのではないのでしょうか。今回は、僕が発見したまま時系列で並べ、そこを追体験的に読む人もいれば、自分で脈絡をつくりながら読む人もいます。読書という行為の範囲がもっと広がります。

平尾 発注はどうしたのですか。締め切りや枚数は？

三島 雑誌をつくらうと思いついた去年の五月、二週間後の締め切りで会った人たちに毎日依頼しました。枚数も大体でお願いして、区切られた字数から出てくるクオリティとは違う形をとらうと思っていました。原稿が来た順に、この枚数だから何ページくらい、と調整していききました。

平尾 内容でいうと、内田樹先生の講演はすばらしいですね。これを読むだけでもこの雑誌を買った価値があったと思える。

三島 もちろん、外見はあくまでも届け方の問題で、内容のクオリティが維持されていないと出す意味が

りません。表面だけの実験をしようとは全く思つていません。で、重要なのは、そのクオリティですが、雑誌に求められるものが変わった以上、クオリティも、昔のものさしではもはや測れないのです。

平尾 本は編集者の個性が強く出ると、雑誌は「みんな」と「今」。「今」に対してアクションとリアクション、両様のアクションがあります。週刊誌はリアクションのメディア、それに対して月刊誌の『文藝春秋』は比較的アクションの要素が強かった。『ちゃぶ台』は、ゆるやかなリアクションですが、射程を少し長くつたアクションもしている。そういう意味で、メッセージを総体として受け取ってほしいということでしょうね。

一方、春風社の図書目録兼PR誌『春風新聞』はいくつかの過程を経てあの形に至つたわけですね。

三浦 最初はPR誌の『春風倶楽部』と図書目録の『学問人』の二つに分かれていました。蛇腹式で作っていた目録がどんどん長くなって、もうこれ以上長くできないとなつたとき、新聞の形にすれば読む方は一旦は広げて目を通してくれるのではと考えました。これは基本的には大学の先生に配っているものです。

平尾 コンテンツを供給する媒体としての雑誌を作らうとは思いませんが、**三浦** ないですね。僕自身も雑誌をあまり読まないし、平尾さんがおっしゃつたように雑誌には「今」が出てくる感じがするのですが、その「今」は、とらえきれないし、とらえたくないような気持ちもあります。

三島 同感です。僕も、実はあまり雑誌を読んでいません。今をとりえる雑誌をつくりたいと思つたこともない。でも、新しい、タネみたいなのに会つて、このよさを伝えたいと思つたとき、単行本にする、三、四年後になつてしまふ。このタネのまま伝えられないかと考えたとき、雑誌ならスピード感を持つて作れる。

平尾 先日、明治大学の講義で学生



きない印刷を試してもらったり、そのとき余っているものをもらったり。だから紙もその都度違うんです。『ちゃぶ台』にはその実験が生きています。

平尾 最近のニュースで、「出版販売落ち込み最大、雑誌離れ顕著」とありますが、これは単に本や雑誌が読まれないという問題だけではない。大手出版社にとっては、雑誌広告が入らないことが一番厳しいんです。かつては、文春でいうと、本の出版を百とすると、雑誌売上が百、広告も百、広告は審査して断るくらいでした。平成になってから広告料収入が落ち始め、今では本の出版が百十、雑誌は九十五と健闘しているのに、広告は三十から四十になっています。

三島 『ちゃぶ台』は、そんな状況を前提にして、はなから広告を入れない。一般的な雑誌には不可欠の台割もつからず、目次も最後にきています。

三島 市販用雑誌をいまだに作ったことがなかったの、いわゆる雑誌の概念にとらわれず、そもそも雑誌とは何かを問い直そうとしました。僕が出版社に入った九九年以来、出版は落ち込む一方で、上っていく感覚は一切ありません。出版は、取次に卸して流通という枠をこれまで

三島 雑誌をつくらうと思いついた去年の五月、二週間後の締め切りで会った人たちに毎日依頼しました。枚数も大体でお願いして、区切られた字数から出てくるクオリティとは違う形をとらうと思っていました。原稿が来た順に、この枚数だから何ページくらい、と調整していききました。

平尾 内容でいうと、内田樹先生の講演はすばらしいですね。これを読むだけでもこの雑誌を買った価値があったと思える。

三島 もちろん、外見はあくまでも届け方の問題で、内容のクオリティが維持されていないと出す意味が

に、定期的に紙の雑誌を読んでいすかと尋ねたら、七十数人のうち一人だけでした。それほど、雑誌を定期的に読む習慣はなくなってきた。『ちやぶ台』のような形で雑誌という概念をまた変えるのはおもしろいですね。

出版の原点

平尾 三浦さんの『おうすいポケット』。白表紙と黒表紙があり、違う内容の本だと思っていました。二冊買っちゃうかもしれない。

三浦 内容は同じで、巻頭にある奥達の遺墨と、横須賀薫先生と池内紀先生の巻頭文が違うだけです。どちらか好きな方を買っていただければと思います。

平尾 出版の経緯や内容は？

三浦 うちの処女出版として『知られざるのちの思想家 新井奥達』を『読みとく』を出し、その後は六年半かけて『新井奥達著作集』全十巻を五百セット出しました。さらに東大出版会から『新井奥達 公快共楽の栄郷を志向した越境者』という本が出たり、僕もシンポジウムで『著作集』出版の経緯を話したりして、少しずつ興味を持ってくださる方が出てきた。ところがそのうち『著作集』自体の在庫がなくなってしまうんです。それに代わる入門書的なもの、難しい漢字にルビを振り、奥達の文章そのものに触られるものを、と思い、『おうすいポケット』を出しました。奥達を外側から論じる前に、まず奥達の書いた文章を読んでほしい。もつとと言うと、音読してほしい。そういう願いを込めました。

いまは『新井奥達選集』の企画が進行中です。『新井奥達著作集』を三分の一に圧縮した、四六判で約四百五十ページ、上下二巻。こちらが『著作集』に代わるものになると思います。

三浦 僕もこれを読んで、音読したいなと思いました。僕は奥達のことを全然知らなかったので、まさに入



としました。その人そのものを全身で一回味わわなければ分からない。たとえ入門書であっても。

三浦 現代語訳もアイディアとしてはあったのですが、そうすると違うものになってしまう。そこでこのような形にしました。

平尾 『おうすいポケット』には愛を感じるよね。渾身の出版活動、「春風社イコール新井奥達」という春風社の活動がなければ私も奥達を知りませんでした。

三浦 僕も今回初めて知った。

平尾 三浦さんの「何としてもこの人のこれを伝えたい」という思い。これこそ出版の原点じゃないですか。私は「いい本と、好きな本と、売れる本が一冊で全部重なければ理想」とよく言っています。でも、だんだん売れる本が一番上位になってしまっている。売れるのは経営者だと思ってしまう。売れるんじゃないやなくて、売らないうこと。

三浦 奥達はこれから売ります。

三浦 これ、火がついたら、バーッとブームになっていくんじゃないですか。

門書として触れました。最初はびっくりしましたが、とにかく読んで味わっていくと、だんだん奥達という人が見えてくる感じがしました。

三浦 ちよつと話がずれますが、三島さん自身の本やミシマ社の「コーヒーと一冊」シリーズは、どれを読んでも身体性が貫かれています。新井奥達について研究している方は、霊性、霊的なものについて語る。でも身体を抜きにして霊的なものは論じられない。そういう身体的なもの、霊的なものとの裏表の関係が、三島さんのつくる本や書かれる本の中にあるなと思う、自分と重ねながら読みました。

平尾 三島さん自身も「全身運動」とおっしゃっています。本は観念の塊だけだと、全身運動である。いろいろなことが総合されて、身体性もその中に入っている感じがします。実際、合気道をやっているらしいやうな感じです。

三浦 はい。「出版は全身運動だ」とも昔よく言っていました。

『おうすいポケット』は、現代語訳ではない、普段なかなか使わない言葉で書かれているものをそのままの形で、解説はなく、あくまで注だけで読むというスタイルが格好いい

最後まで読み切る

平尾 ミシマ社の「コーヒーと一冊」シリーズ。三島さんが業界にも支持者が多いのは、一カ所に停滞せず、いろいろなことを仕掛けているところ。東京の自由が丘を拠点にした定住と、遊動との両方をやっていますね。このシリーズは装丁も美しい、スタイル自体がおもしろい。これをやり続けるの、大変だと思いますが

三浦 そうですね。話題をつくりたいというより、それを継続することによって、何か違う流れを生んでいきたい。とにかく続けることを大切にしています。

今回選んだ本は全部、京都に移ってからの企画です。自由が丘だけが拠点のときは、比較的オーソドックスな単行本、内田樹先生の「街場シリーズ」など、読み物として内容がおもしろい本を作っていました。京都に移ってからは著者の方々と会う機会も当然激減しますし、デザイナーさんの数も圧倒的に少なく、出版的な情報は、体感的には東京の千分の一です。それでも、東京には制度疲労している部分もあって、次の新しい出版を更地からつくっていく行為は東京じゃないほうがやりやすいという直感のもと、京都に僕自身の拠点を置いていました。

そういう意味では、三浦さんがやっていらつしやることと実は裏表だと思えますが、より本質を突いていくしかない。まず一つは「中身を徹底的に追求していく」こと。もう一つは「出版という形そのものをもう一度問い直す」ことです。

今はみんなスマホを使っている、電車に乗ってもスマホ、寝る前にも必要のないのにスマホ。僕自身もそうであることに気づきました。

周りでも「最近、本を読んない」という人たちが体感的にぐっと増えていて、その理由の一つは「最後まで読み切ることが少なくなってきた」ということです。読み切れずに途中で終わった本が何冊か続くと戻れなくて、という声が多くありました。

僕は紙の本が好きで、本でしか伝わらない世界がいつばいある。出版にかかわっている人たちがいかにそれを本気で残していくかだと思っています。でも現実には、時間をスマホに奪われている人たちがいつばいいる。そこで「とにかく読み切る」という行為をもう一度目指そうと思っただけです。

三浦 「読み切る感覚をもう一度」という。

三浦 この「コーヒーと一冊」シリーズは一冊千円で百ページ前後、書店との共存共栄を目指して、買い切りで書店の利益を四割に設定し、書店の利幅を増やすことにしました。手にした感じで、「ああ、この本だと読み切れるかも」と、直感的、身体的に思えるかどうか。かつて本を読んでいた人たちに本の世界に戻ってきてもらうためにつくったのがこのシリーズです。



歩いてなかったか。人はこういうふうにも生きていくことができるという体をはったメッセージに、ガチガチだった身体が解放されるんじゃないか。

平尾 あえて注文をつけると、まとめはうまいのですが、コクが足りないと思います。活字の強さは時間を濃縮できることですから。でも、それをやりすぎると、一冊読んでいく雰囲気が消えるかもしれない、その兼ね合いが難しいでしょうね。

三浦 おつしやることはよく分かっています。実はこれでもだいたいぶつ返りではいるんです。バックキーの話、意味不明なんです。本人も言っているように中身がない。でも彼の魅力は、読み手のほうが勝手に、「中身の無い話」から深いメッセージを読み取ってしまうところ。この「22世紀を生きる」シリーズは、そういう「人がそのまま出てくる」スタイルでいくと決めていました。一旦は正統なところを捨てても、読み手の感度を信じて出しています。

平尾 すこい度胸ですね。

三浦 どれだけ説明的にならないかが勝負でした。シリーズの第一弾が、バックキー井上という世間では全然知られていない著者。しかも本人も「中身の無い」と言っている、その人をいかに、本人の肉声だけで伝えられるか。

自由が丘オフィス制作と京都オフィス制作の本はゆるやかに区別して、自由が丘オフィスではいわゆるオーソドックスな本づくりを目指しています。もう一方で、平尾さんがおつしやる「読み応え」や「コク」が本の商品性だとすると、京都オフィスが一貫してやっているのは、商品性から離れる、商品じゃないものをつくるという実験ですね。実験なので、最初からゴールが見えているわけではない。

三浦 この本を読んでいて、何回も笑った。かなり深

読みして、結構意味は分かってくるも、さすがに「これ、何言っているんだ？」と思うところがあつて次のページめくったら、バックキーさんが、「俺、何、言っているんだろ？」と。それから、「浅漬は折れるけれど、古漬は曲がる」なんてことも書いてある。

三浦 あれがなかなかいいんですよ。バックキー語録。

平尾 この人の小説、私には全然だめでした。

三浦 そうですか、それは感度が低い！(笑)

三浦 僕にはおもしろかった。でたらめだけれど、そこに出てくる人たちが目に浮かぶもの。

三浦 賛否両論が出るのがうれしいですね。「本は好きだけど「好き」の範囲の狭い保守派からは否定されるだろうな」とは思っていました。けど、そういう偏った本好きにだけ認めてもらう本だけでは……。「おもしろい」は多様でないと。

平尾 私は文藝編集者たちの必死の苦勞が目につく。だから素直に肯定できません。

三浦 文春のことですね……。

平尾 ただこのような試みがなかったら閉塞状況がどうにもならないということには、百パーセント同意します。三島さんは、読書を限られた読者・編集者の特権的な位置から解放したいと思っっている。三浦さんは、読書の喜びは特権ではない、意志的に獲得すべき貴重な権利だと考えている。お二人にそれぞれの道を進んでいただきたいと心から思っています。

三浦 今日出版の原点についてお話しいただきました。ミシマ社と春風社では仕事の方向性も出版物の傾向もちがいますが、三島さんのことは、同じ業界でたまたかう同士と感じられました。ありがとうございます。

三浦 私も三浦さんとは共感するところが多かった。ありがとうございます。

哲学・思想・宗教



越境する哲学

体系と方法を求めて 村上勝三 (元東洋大学教授) 東洋大学国際哲学研究センター編 学問分野の細分化が進む現代に必要な「思考」とは？ 「方法」 「体系」そして「翻訳」をキーワードに共有可能な知を展望する。日・仏・独の研究者16名による真摯な思索の軌跡。 A5判並製・四七八頁 定価(5500円+税) ISBN 978-4-86110-478-7

思想家としての石橋湛山

山口正 (石橋湛山記念財団評議員) 『石橋湛山全集』の出版に携わり、湛山の多面性と東洋経済新報社史に精通する第一人者が論じる26編。増田弘氏(石橋湛山研究会会長)推薦！ 「湛山の実像が「真実は細部に宿る」との信条をもって生き生きと描かれた好著」 四六判上製・四二四頁 定価(3000円+税) ISBN 978-4-86110-472-5



徂徠と崑崙

末木恭彦 (駒澤大学教授) 江戸時代を代表する儒学者・荻生徂徠の学問とは？ 儒学の紹介・祖述にとどまらず独自の儒学を構成し、後代に多大な影響を与えた徂徠と、弟子の一人である山井崑崙。二人の思想を対比的に捉えその核心に迫る。 四六判上製・一五二頁 定価(3500円+税) ISBN 978-4-86110-494-7



長谷川宏

日々の風

暮らしのなかの哲学

13 しあわせ考

幸福について新書版の一冊を書下ろそうと、このところあれこれ考えをめぐらしている。哲学と日常の暮らしを結びつけるものとして、幸福はまさしく恰好のテーマだと思えるのだが、いざ論じようとするとなかなか考えがまとまらない。ぎりぎり追いつめてその核心を抽出するのにもむずかしいし、大きく見わたしてこまではしあわせといえる、といったふうにする範囲を確定するのがこれまたむずかしい。が、その一方、日々目にする出来事や境遇について、当事者や周りの人にとってそれがしあわせかどうかをわたしたちはおのずか感じておられるわけで、その実感の確かさがかえって幸福を論じにくく思わせる。二十年ほど前に、いまは亡き妻・長谷川撰子との共著として『しあわせのヒント』という小さな本を出したときも、同じように、しあわせなるものの論じにくさを感じていた。論じにくいものにあえて身を乗り出すという性癖が自分にあるのは認めねばならないが、こんど幸福論に挑戦した背景には、個人的な性癖よりも、塾でつきあう子どもたちがあまりしあわせそうではないという事実認識のほ

うが強く働いていると思う。小中学生の勉強ぶりや遊びのさまを見るにつけ、もつと元気で、もつと楽しくあつていいはずだという思いを抑えがたく、そういう状況がしあわせとはなにかという問いを突きつけてくるようなのだ。二十年前の共著も同じ心境を出発点としていて、思えば、幸福論なるものは自分の不幸よりも他人の不幸、あるいは社会の不幸に促されてなりたつものなのかもしれない。ただ、二十年前とちがうのは、わたしがいま五歳、三歳、一歳の幼児と同じ屋根の下に暮らしていることだ。この幼児たちはどう見てもしあわせそうではない。どころか、一歳になったばかりの末っ子などは、その元気な、楽しそうのさまが周りにもしあわせをふりまくほどで、存在そのものがしあわせだといいたくなる。存在のしあわせはいつ、どこで、どう変質するのか。それを考えるのもしあわせ考の項目なのかもしれない。(哲学者)

姿を変えたキリスト みなし子を育てたシスターたち 菊地章太 (東洋大学教授) 「福祉」の原点を「宗教」に見出す感動のドキュメンタリー。子どもたちを救うことに尽力してきたシスターたちの奮闘の足跡を、横浜、神戸、岡山、長崎、天草からたどる。 ISBN 978-4-86110-475-6 ¥2200

哲学 はじめの一歩

立正大学文学部哲学科編 わたしって何のために生きてるんだらう。「生きる」「私」であること「心」「行動する」の四つのテーマから考える。高校生・大学新入生のための哲学入門。四冊函入。 ISBN 978-4-86110-459-6 一刷 ¥3241

随想 西田哲学から聖霊神学へ

小野寺功 (清泉女子大学名誉教授) キリスト教の日本への受肉を生涯のテーマにしてきた著者畢生の論考集。若手の風土の中で育まれた少年の感性が世界の思想を受け入れ獲得してきた思索の過程を跡づける。 ISBN 978-4-86110-464-0 ¥3500

絶対無と神—京都学派の哲学

小野寺功 (清泉女子大学名誉教授) ISBN 4-921146-47-0 ¥4600 聖霊の神学 小野寺功 (清泉女子大学名誉教授) ISBN 4-921146-81-0 ★ ¥7600

おうすいポケット 新井奥達語録抄 三浦衛 (春風社代表)・コルダニエル (福岡女学院大学教授)編 田中正造が「亜聖」と評し、高村光太郎が愛読した、いのちの思想家、奥達。その珠玉の語録を全集より精選。 白表紙 ISBN 978-4-86110-454-1 黒表紙 ISBN 978-4-86110-455-8 各巻 ¥2200

新井奥達著作集(全十巻)

工藤正三 (新井奥達先生記念会幹事)、コルダニエル (福岡女学院大学教授) 共編 各巻 ¥6500 エコ・ファンタジー—環境への感度を拡張するために 山田利明 (東洋大学教授)、河本英夫 (東洋大学教授)編 ISBN 978-4-86110-468-8 ¥3500

死生学—死の隠蔽から自己確信へ

岩崎大 (東洋大学研究助手) ISBN 978-4-86110-438-1 ¥3982 虚構の形而上学—「あること」と「ないこと」のあいだで 中村靖子 (名古屋大学教授)編 ISBN 978-4-86110-436-7 ¥3500

サルトルとマルクス—II 北見秀司

(津田塾大学教授) ISBN 978-486110-213-4 / ISBN 978-486110-214-1 各巻 ¥3333

積読詳節(上・中・下) 朝鮮祖算述/河瀬幸夫 訳 ISBN 978-4-86110-209-7 / 978-4-86110-363-6 / 978-4-86110-271-4 各巻 ¥6500 『方法叙説』をめぐる六つの試論—日本の思惟と西欧の思惟に介在する深淵 小林利夫 著 徳永雅 編 ISBN 978-4-86110-254-7 ¥3619

哲学の挑戦

西日本哲学会編 ISBN 978-4-86110-335-3 ¥2800 沈黙の向う側—豊崎光二追悼集 豊崎令子 監修 石崎誠、佐久間和男、中村裕、平山規子 編 ISBN 978-4-86110-370-4 ¥3048

リハビリテーションの哲学あるいは哲学のリハビリテーション

稲垣論 (自治医科大学教授) ISBN 978-4-86110-303-2 一刷 ¥2381 ちいさな哲学 長谷川宏 (哲学者) ISBN 978-4-86110-192-2 ¥1800

超越する実存—人間の存在構造と言語宇宙

棚次正和 (京都府立医科大学教授) ISBN 978-4-86110-391-9 ¥4500

横超の倫理—ローティ、ハイエク、シンガーを超えて 谷口隆一郎 (聖学院大学教授) ISBN 978-4-86110-393-3 ¥3333

マハーバータとラーマヤナ

前川輝光 (亜細亜大学教授) ISBN 978-4-86110-365-0 ¥3000 新しい国家—海辺の別荘で教養と信仰と哲学を語り合う W・H・マロック 著/澤井勇訳 ISBN 978-4-86110-319-3 ¥2800

直接知の探求—西田・西谷・ハイテッカー・大拙

松丸壽雄 (獨協大学教授) ISBN 978-4-86110-347-6 ¥4000 茶の本 岡倉天心 著/ソーントン不破直子 (日本女子大学名誉教授) 訳 ISBN 978-4-86110-191-5 ¥1300

源信とパウロ—『往生要集』と『書簡』における神秘主義の比較

高見伊三男 (牧師/名古屋学院大学教授) ISBN 978-4-86110-123-6 ¥3200 聖書における愛—イエスの愛とパウロの愛 高見伊三男 (牧師/名古屋学院大学教授) ISBN 978-4-86110-287-5 ¥2200

ロールズ誤解された政治哲学—公共の理性をめぐって

堀巖雄 (研究者) ISBN 978-4-86110-112-0 ★ ¥4700

思想のレイキエム—加賀・能登が生んだ哲学者15人の軌跡 浅見洋 (石川県立看護大学教授) ISBN 4-86110-068-2 ★ ¥3500

風についての省察—絶対無の息づかいをもとめて

松山康國 (関西学院大学名誉教授) ISBN 4-921146-85-3 ★ ¥3333 異教の完成者—史的イエスをめぐる謎 波多野直人 (武蔵大学教授) ISBN 978-4-86110-351-3 ¥3500

滝沢元吉を語る

三島淑臣 (九州大学名誉教授) 監修 ISBN 978-4-86110-206-6 ★ ¥3619 <文化>の思想—現代日本の位置から 西欣也 (甲南大学教授) ISBN 978-4-86110-323-0 ¥2200

河合榮治郎の社会思想体系—マルクス主義とフアンズムを超えて

青木育志 (研究者) ISBN 978-4-86110-272-1 ★ ¥3800 教養主義者・河合榮治郎 青木育志 (研究者) ISBN 978-4-86110-320-9 ¥3000

ヤスパース—人間存在の哲学

吉村文男 (京都教育大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-260-8 ★ ¥4571

対話論神学の地平—私の巡礼のなから 延原時行 (元教和学園大学教授) ISBN 4-86110-081-X ★ ¥4286

犠牲と身代わり—記憶できないものをめぐって

長田陽一 (京都光華女子大学教授) ISBN 978-4-86110-275-2 ¥2200 心理臨床と脱構築の経験—「他者」をめぐって 長田陽一 (京都光華女子大学教授) ISBN 978-4-86110-345-2 ¥2400

小林秀雄とウイトゲンシュタイン

中村昇 (中央大学教授) ISBN 978-4-86110-106-9 ¥2500 仮説法の倫理学—ホー・ハース・ハイテッカー 村上隆夫 (群馬大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-309-4 ¥5600

同一性の形而上学—映画・SF・探偵小説

村上隆夫 (群馬大学名誉教授) ISBN 4-86110-059-3 ★ ¥600 西田幾多郎—生命と宗教に深まりゆく思索 浅見洋 (石川県立看護大学教授) ISBN 978-4-86110-185-4 ★ ¥3333

信仰の美學

阿部仲麻呂 (フジソコ会会長) ISBN 4-86110-028-3 ¥9500

フィリップ・ラーキン

愛と詩の生涯

高野正夫 (元駒澤大学教授)

「英国の最も偉大な戦後の詩人」の想像力の源泉は何だったのか。奔放な女性関係、ビーターラビツトへの偏愛、イエイツからの影響……これまでにならぬ視点から詩人ラーキンの姿を明らかにする。

四六判上製・二九頁 定価(3200円+税)
ISBN 978-4-86110-477-0



ヘーター・フーヘル

現代詩への軌跡

土屋洋二 (元愛知大学教授)

ナチス・ドイツ、ベルリンの壁、表現主義論争……現代ドイツを代表する詩人、その生涯を描いた初の本格的評伝！ 激動の20世紀ドイツの社会的・思想的背景のなかでフーヘル作品を評価する。

四六判上製・四〇四頁 定価(3200円+税)
ISBN 978-4-86110-481-7



異文化理解と

ハフォーマンス

Border Crossers

松田幸子・笹山敬輔・姚紅 編著

在日朝鮮人文学、明治のドストエフスキー翻訳、安部公房の詩、原発小説、アジアにおけるシェイクスピア受容など、「上演」「実践」としての「ハフォーマンス」概念を鍵に、ジャンル、時代、民族、地域、言語、性を超えた地平をめざす挑戦的論集。

A5判並製・約三六〇頁
定価(4500円+税)
ISBN 978-4-86110-499-2

T.S.エリオットの

詩を解説する

滝沢博 (高岡法科大学教授)

重層的な表現にこめられた精巧な仕掛けを、暗号のように解説。様々な角度から妥当性の高い読みを選び出す作業によって、新しいエリオット像が浮かびあがる。

四六判並製・七〇頁 定価(2200円+税)
ISBN 978-4-86110-476-3



幻想と怪奇の英文学 東雅夫 (アンソロジー、評論家) 下橋昌哉 (同志社大学教授) 編
ISBN 978-4-86110-404-6 ¥2700

ジョージ・エリオットの異文化世界
高野秀夫 (駒澤大学名誉教授)
ISBN 978-4-86110-395-7 ¥3333

トルストイと生きる
藤沼貴 (早稲田大学名誉教授)
ISBN 978-4-86110-385-8 ¥4762

戸籍の謎と丸谷才一
ソーントン不破直子 (日本女子大学名誉教授)
ISBN 978-4-86110-381-0 ¥1800

ミルワード氏の英文学散歩—ルネッサンスから現代へ—
ビーター・ミルワード 編著 / 橋本修一 訳
ISBN 978-4-86110-167-0 ★ ¥1800

乱歩彷徨—なぜ読み継がれるのか
紀田順一郎 (評論家・作家)
ISBN 978-4-86110-284-4 ¥1905

作品は「作者」を語る—アラビアン・ナイトから丸谷才一まで—
ソーントン不破直子・内山加奈枝 編著
ISBN 978-4-86110-292-9 ¥2857

朝鮮神話の源流—「ハリ公主神話」と「タンクン神話」を巡って—
金香淑 (自白大学准教授)
ISBN 978-4-86110-313-1 ¥4500

原典対照『ヘーオルフ』読解
長谷川寛 (元日本大学教授)
ISBN 978-4-86110-230-1 ¥9000

イギリス イメージ断片—表象と文学
栗田圭治・田原光広・吉本和弘 編
ISBN 978-4-86110-278-3 ¥3333

明治大正露文化受容史—二葉亭四迷・相馬黒光を中心に—
小林実 (十文字学園女子大学准教授)
ISBN 978-4-86110-219-6 ¥6476

永井荷風 ソライズムの射程—初期作品をめぐって—
林信蔵 (京都大学非常勤講師)
ISBN 978-4-86110-222-6 ¥3619

名刀中条スハババン!!!
中条省平 (学習院大学教授)
ISBN 4-921146-90-X ¥2800

アントニオ・タフッキ 反復の詩学
花本知子 (京都外国語大学講師)
ISBN 978-4-86110-358-2 ¥3000

Beowulf
橋本修一 (千葉工業大学教授)
ISBN 4-86110-060-7 ★ ¥2000

カスオ・インシクロー〈日本〉と〈イギリス〉の間から—
莊中孝之 (京都外国語短期大学准教授)
ISBN 978-4-86110-255-4 ¥3000

乱読すれど乱心せず—ヤスタケンがえらぶ名作50選—
安原順 (スパーエディター)
ISBN 4-921146-67-5 ★ ¥1800

『ヘーオルフ』とその周辺—忍足欣四郎先生追悼論文集—
唐澤一友 (駒澤大学教授) 編
ISBN 978-4-86110-190-8 ¥8000

古代歌謡と南島歌謡—歌の源泉を求めて—
谷川健一 (民俗学者)
ISBN 4-86110-058-5 ★ ¥2400

なぜ男は笹野頼子を畏れるのか
海老原暁子 (元立教女学院短期大学教授)
ISBN 978-4-86110-318-6 ¥2381

樋口二葉—物語論・言語行爲論・シエンター
笹川洋子 (神戸親和女子大学教授)
ISBN 978-4-86110-348-3 ¥4000

ほくの交遊録
岡井隆 (歌人)
ISBN 4-86110-044-5 ★ ¥2800

インタビュー—現代短歌—うた・ひと往来
及川隆彦 (『短歌往来』編集長)
ISBN 4-86110-066-6 ★ ¥2857

ラファディオ・ハーンとジェイムズ・トムソン—
「四季」をめぐって—
先川暢郎 (元拓殖大学教授)
ISBN 978-4-86110-285-1 ¥3333

新版文学にひそむ十字架
小出龍太郎 (大阪芸術大学短期大学教授)
ISBN 978-4-86110-354-4 ¥2800

小出龍重と谷崎潤一郎—小説「夢喰ふ虫」の真相—
小出龍太郎・明里千章・荒川朋子
ISBN 4-86110-084-4 ¥2500

小出龍重—光の憂鬱
小出龍太郎 (大阪芸術大学短期大学教授)
ISBN 4-921146-34-9 ¥2200

ちよつと、教養—20代女性のための芸術案内
小出龍太郎 (大阪芸術大学短期大学教授)
ISBN 4-86110-008-9 ¥1600

民話の森の歩きかた
樋口淳 (専修大学教授)
ISBN 978-4-86110-273-8 ¥2381

テクストの思考—日本近現代文学を読む
林浩平 (詩人・恵泉女学院大学特任教授)
ISBN 978-4-86110-253-0 ¥3048

AUTHOR

自著を語る

田所清克

『ブラジル雑学事典』



長大なアマゾン河、大密林、熱帯の環境が育む豊かな動物相・植物相。熊本の自然の中で育ったためか、ブラジルの大自然にとっても興味を惹かれました。もともと文学少年だったので、文学を通してブラジルを知ろうと考えブラジル文学を専攻する一方で、民族学、地理学も学びました。

ブラジルを熱愛するようになったのは、実際にブラジルに行ってからです。リオでの留学2年目、ブラジル内務省企画の「ロンドン計画」に日本人で初めて参加したことも転機となりました。ブラジル北東部の最貧困奥地に1ヵ月余り滞在して研究・調査に携わったのですが、当地の住民の貧困は筆舌に尽くしがたいものでした。早魃と飢餓の問題を描いたラッケル・デ・ケイロスの『早魃』という作品そのままの暮らしがそこにありました。文学と風土の関係性をまのあたりにし、環境地理学に関心を持っていたこともあって、ブラジルを徹底的に研究することにしました。

ブラジルは多民族社会ですから、ブラジルを理解しようと思えば、文明をもちこんだポルトガル人のことを知らなければなりません。また、ポルトガル人は奴隷を導入していますから、アフリカ文化の影響も非常に強く、アフリカ社会のことも、それに先住民(インディオ)についても知る必要があります。ブラジル全体を理解するには、学問横断的な研究が必要なのです。

ブラジルには、世界最大の日系社会があり、日本にとってかけがえのない国です。にもかかわらず、日本人はブラジルのことをほとんど知りません。ステレオタイプではないブラジルを知ってほしいという思いから、私が40年にわたって研究してきた「ブラジル」を一冊にまとめたものが本事典です。55回に及ぶ現地でのフィールド・リサーチにもとづく、ブラジルの真の姿を、問題点も含めて体感していただきたいと思います。

私にとってブラジルは、単なるケーススタディではありません。私の大学人としての人生はブラジルによって作られた、といっても過言ではありません。ブラジルはそれほど思い入れの強い国です。本当に魅惑的な国です。

(8頁に本の紹介)

ヘンリー・フィードバック
澤田孝史 (東京国際大学教授) ¥286
ISBN 978-4-86110-231-8 ★

平家物語—装置としての古典
高木信 (相模女子大学准教授) ¥4600
ISBN 978-4-86110-139-7 ★

英詩に魅せられ—エリオットからラーキンまで
堀田三郎・大飼誠 共編 ¥2476
ISBN 978-4-86110-305-6

啓蒙と反動
青地伯水 (京都府立大学教授) 編 ¥3000
ISBN 978-4-86110-362-9

Decoding Paul Muldoon: Poetics and Politics
奥田良一 (東海大学教授) ¥2500
ISBN 978-4-86110-176-2

虫曼荼羅—古典に見る日本人の心象
岩下均 (目白大学教授) ¥2800
ISBN 4-86110-004-6 ★

荒野へ 鮎川信夫と「新領土」—
中井巖 (同志社大学名誉教授) ¥9333
ISBN 978-4-86110-096-3

こんちにはチェホフ!—三つの短編を訪ねる
村手義治 (元創価大学教授) 編訳 ¥2000
ISBN 978-4-86110-279-0

龍の星霜—異端の劇作家青江舜一郎
大嶋拓 (映画作家) ¥1500
ISBN 978-4-86110-274-5

法隆寺
青江舜一郎 (劇作家) ¥2800
ISBN 978-4-86110-225-7

鷗外・漱石—ディカリスムの起源
大石直記 (明治大学教授) ¥5600
ISBN 978-4-86110-175-5 ★

見えないものを見る力—ケルトの妖精の贈り物
風呂本武敏 (元愛知学院大学教授) ¥2190
ISBN 978-4-86110-094-9 ★

一人の詩人と二人の画家
D・H・ロレンスとニューメキシコ
クヌド・メリル 著 / 木村公一 (早稲田大学教授) 訳
倉田雅美 (東洋大学教授)・伊藤芳子 (元相模女子大学教授) 訳
本邦初訳! ロレンスと二人のデンマーク人の画家クヌド・メリルとカイ・ゲチエが、アメリカ南部を旅した際の回想録。生身のロレンスを活写し、その創造的精神を明らかにする。
A5判上製・四八八頁 定価(4100円+税)
ISBN 978-4-86110-498-5

鎌倉三猫物語
ソントン不破直子 (日本女子大学名誉教授) 著
四季折々の中で繰り広げられる三猫の小さな冒険。学者一家と暮らす猫たちが隣猫と出会ったり、長歌を詠んだり、ときには鳥を仕留めたり…かわいくて、リアルで、ちよっとこわい日常。ISBN 978-4-86110-430-5 ¥1500

スウェーデン民話名作集全4巻
数下統一 (元駒澤大学教授) 訳 人々のさだめと神の救い、魔女や動物たちがおりなす魔法と幻想の世界。(IIは品切重版未定)
I ISBN 978-4-86110-246-2
II ISBN 978-4-86110-339-1
III ISBN 978-4-86110-368-1
IV ISBN 978-4-86110-368-1 各巻 ¥1905

エルビー・メルゲンと七つの太陽—モンゴルの
いつたえ集 塩谷茂樹編訳 / Ya・バダムハ
ンドコラム執筆 ISBN 978-4-86110-338-4 ¥1600

小作人とアザラシ女—スコットランドの
いつたえ ジュディ・ハミルトン 著 / 先川暢郎・
橋本修一 訳 ISBN 978-4-86110-408-4 ¥1500

文学



クリスマス・キャロル

チャールズ・ディケンズ 著

井原慶一郎 (鹿児島大学教授) 訳

一年で一番楽しい日、クリスマス・イブ。欲深い老人スクルージのもとに幽霊があらわれて…炉端での幽霊話を念頭においた読みやすい語り口調で翻訳。詳注と解説、日本初紹介となるディケンズ公認のアメリカ版挿絵25点を加えた新訳決定版!
四六判変型上製・二五八頁 定価(1500円+税)
ISBN 978-4-86110-474-9

いないも同然だった男 パトリス・ルコント
著 / 桑原隆行 (福岡大学教授) 訳
影の薄い「誰にも見えない男」は美しい同僚へ愛を伝えるため、自分の存在を証明するために、英仏海峡を泳いで渡る計画を立てるが…。
フランス映画の巨匠ルコントの最新作。
ISBN 978-4-86110-458-9 二刷 ¥1800

志願者の往復書簡 パトリス・ルコント、ダ
ヴィッド・デカンヴィル 著 / 桑原隆行 (福岡
大学教授) 訳 入院先で知り合った二人の自殺
志願者が、知恵をこらして珍妙な自殺方法の
アイデアを競い合う…。コミカルな書簡体
小説。ISBN 978-4-86110-418-3 ¥1800

翻訳ピンチ! 中条省平 SHOHEI CHUJO

17

敵は紋切型にあり!

いまルナールの小説『にんじん』の新訳をやっています(光文社古典新訳文庫)。
『にんじん』といえば、実の母親にいじめられる子供の悲劇として有名です。私の知りあいの編集者は、子供時代、少年少女向け文学全集に入った『にんじん』が大の愛読書で、何度読み返しても、そのたびに泣いてしまったそうです。「にんじんが可哀そうで、可哀そうでねえ……」。
私は驚きました。たぶんそのジュブナイル版『にんじん』は、子供向けにお涙頂戴の哀話の部分がとくに強調されていたのでしょう。新訳はそうした印象をさっぱり洗い流すものにしたと考えています。
『にんじん』にはいくつかの既訳があります。主なものは、岩波文庫の岸田國士訳、角川文庫の窪田般彌訳、旺文社文庫の辻昶訳で、それぞれ独特の訳文に仕上がっていますが、意外な共通点があります。それはヴァロットの木版挿画がたっぷりと挿入されていることです。
ヴァロットの絵は美術作品として価値が高いのですが、『にんじん』の印象を田園牧歌ふう固定するきらいがあり、

とくにまずいのは、主人公が坊主頭の田舎の悪がきふう描かれていることです。
小説の『にんじん』には「髪の毛」というエピソードがあり、にんじんの癖毛が家族の塗ったポマードに抗して、「真っ直ぐに、自由に、立ち上がる」という重要な象徴的一文があります。これひとつとっても、にんじんは坊主頭ではありえないのです。
そのほか、『にんじん』には、いかにも哀話らしく金髪の美少年が首を吊ろうとするデュヴィヴィエ監督の映画版もあれば、ルナール自身が舞台化した父親と息子の人情話的な戯曲版もあって、それぞれに『にんじん』の固定したイメージを作りだしています。
新たな拙訳では、こうした強力な紋切型に抗して、原作の主人公の、風通しのいいニヒリズムと、捨て身のリリシズムを、なんとか訳文に結晶させたいと思っています。(仏文学者)



イラスト: たけなみゆうこ

写真・音楽・芸術



物語らないアニメーション

ノーマン・マクラレンの不思議な世界
栗原詩子 (西南学院大学准教授) 著
実験アニメーションの先駆者ノーマン・マクラレン。ストーリーに還元されることのない、映像全体に張り巡らされた作家特有の手法・技法を注視。映像と複雑に絡み合ったマクラレンの音楽的関心を探求する。
A5判上製・一六四頁 定価(3500円+税)
ISBN 978-4-86110-493-0



利根川を往く
搞絃 (写真家) 撮影
暮らしの中にこそ詩があった。昭和44年から64年までの20年間、利根川とともに暮らす人びとの生活、風土を克明に記録。写真点数一五〇。写真集『九十九里浜』の小関与四郎氏の跋文を併録。
A4判上製横長・二五八頁 定価(4800円+税)
ISBN 978-4-86110-503-6

- ことばのポトラック
大竹昭子(作家)編
ISBN 978-4-86110-310-0 ¥1800
- クリス・ホルディック選「コック短編小説集」
石塚則子(同志社大学教授)他編訳
ISBN 978-4-86110-298-1 ¥3500
- イギリスの田舎を歩く ピーター・ミルワ
ド著/橋本修一(千葉工業大学教授)訳
ISBN 978-4-86110-311-7 ¥429
- アイリッシュ・ハーブの調べーケルトの神話集
マリー・ビーニー著/大野光子 監修
ISBN 978-4-86110-124-3 ¥1800
- お爺ちゃんとお爺
オタ・フイリップ著/北岡武司(岡山大学名誉
教授)訳 ISBN 978-4-86110-446-6 ¥2500
- 人生の請求書
石橋幸子(春風社専務)
ISBN 978-4-86110-410-7 ¥1300
- カフェの女主人
レイモン・ジャン著/桑原隆行(福岡大学教授)訳
ISBN 978-4-86110-356-8 ¥2200
- モーツァルトの息子
ジャック・トゥルニエ著/高井道夫(元上智
大学教授)訳 ISBN 978-4-86110-242-4 ¥2200
- パリの小鳥売り
ロベール・ブラジヤック著/高井道夫(元上
智大学教授)訳 ISBN 978-4-86110-250-9 ¥2200
- リヴァ・ペラ パトリス・ルコント著/桑原
隆行(福岡大学教授)訳
ISBN 978-4-86110-280-6 ¥1905
- ショートカットの女たち パトリス・ルコン
ト著/桑原隆行(福岡大学教授)訳
ISBN 978-4-86110-277-6 ¥2000
- 空に上がったハイエナー ケニア・キクウの民話
集 杜由木
ISBN 978-4-86110-301-8 ¥1600
- カレワラ物語ーフィンランドの国民叙事詩
キルステイ・マキネン著/荒牧和子訳
ISBN 4-86110-034-8 ¥1800
- 愛の叙事詩 バルタイヤン物語 ミシエル・ゼ
ヴァアコ著/鈴木梯男(神戸松蔭女子学院大学名誉
教授)訳 ISBN 978-4-86110-223-3 ¥2800
- フォアの国のことばーベトナムを学ぶ、ベトナ
ムに学ぶ 富田健次(元大阪大学教授)
ISBN 978-4-86110-352-0 ¥1905
- 横浜の時を旅するーホテルニューグランドの
魔法 山崎洋子(作家)
ISBN 978-4-86110-296-7 三刷 ¥1600
- 魔術師のたいい
レーナ・ラウラヤイネン著/荒牧和子訳
ISBN 4-86110-075-5 ¥1500
- みらいのゆめくすね
しりあがり寿(漫画家)
ISBN 978-4-86110-294-3 ¥1600
- マハーヴァギナまたは巫山の夢
三浦衛(春風社代表)
ISBN 978-4-86110-342-1 ¥1957
- 父のふるさとー秋田往來
三浦衛(春風社代表)
ISBN 978-4-86110-243-1 ¥1905
- 出版は風まかせーおとほけ社長奮闘記
三浦衛(春風社代表)
ISBN 978-4-86110-193-9 ¥1300
- ヨコハマ ヨコスカ 暮末 ハリ
飯島耕一(詩人)
ISBN 4-86110-040-2 ¥2800
- 気がつけばアメリカ人ー二つの祖国に生きて
蒲生靖子
ISBN 978-4-86110-392-6 ¥1500
- わしといたすらキルディーン
マリー女王著/長井那智子(エッセイスト)訳
ISBN 978-4-86110-153-3 ¥1800

しりあがり寿 mini 大河 16 巡

風見昌雪のしっかり握られた手は汗ばんでいた。
昌雪は信濃の片隅を領地とする風見一族の頭領、
そして彼の目の前にいるのは、関八州、時の支配者
北条氏政であった。

「北条か豊臣、どちらをとるか？」
北条が詰め寄る。
「いやそれはまあどっちも強い大名様で…」
「それで？」
「戦って勝った方につきたいと…」
「馬鹿者！」周囲の武士たちが殺気立ち刀に手をかけ
る。
「お、お待ちください！ 今言います」
「どっちだ？」
「…モニヨモニヨ」
「モニヨモニヨだとー！」
「いやすみません！ もちろん私共は、ほー…」
「ほー…なんだ？ よく聞こえんぞ」
「ホー…ホー…ホー…」
ここで北条と言えば豊臣を敵に回す。時代の趨勢は
豊臣だ…
「ホーレンソー」
「なんだと！」
「いえその、大名には報告、連絡、相談の
ホーレンソーが大切だなと…」
「バカにするか！」
「ホー…ホケキョ」
刀を持った武士が周りをとりかこむ。
「ホー…ホー…ホー」
「さあ、どちらにつく！」
「ホータル来い♪ こっちのみーずはあーまいぞー♪」
こうして風見は踊りながらフラフラと屋敷を出てい
き、
氏政はただあきれて見送るだけだったという。



- アンドレ・バザンー映画を信じた男
野崎敏(東京大学教授)
トリュフォーを監督として育て上げ、映画批評
の金字塔『映画とは何か』を著したアンド
レ・バザン。映画をこよなく愛する翻訳家・
仏文学者による待望の映画論。
ISBN 978-4-86110-456-5 ¥2300
- 増補改訂器としての身体ー土方巽・暗黒舞
踏技法へのアプローチ
三上賀代(京都精華大学教授)
土方から直接教えを受け現在も舞踏をつづけ
る著者が、稽古ノートと実験をもとに土方
巽・暗黒舞踏技法を解明する。
ISBN 978-4-86110-465-7 ¥3600
- 父のアルバム
伊藤巖、田中典子(清泉女子大学教授) 娘の成
長を写真と文で綴る。アルバムに残された家族
の断片は、「昭和の家族」の姿を映し出す。今
より「不便」だが不便とも思わなかった時代の
ささやかな記録が、大切な何かを教えてくれる。
ISBN 978-4-86110-467-1 ¥1800
- 【新版】北上川 橋本照嵩(写真家)
立松和平氏(作家)推薦！「近年の収穫と
いえる写真集である」。石巻市出身の(人物
写真家)が、昭和30~40年代のふるさととの原
風景と人々の暮らしを深い愛情と洞察をもつ
て写し撮る。
ISBN 978-4-86110-441-1 ¥3500
- 石巻2013.2.27~2014.5.29
橋本照嵩(写真家)
ISBN 978-4-86110-414-5 ¥4500
- ファンニー・メンデルスゾーン・ヘンゼルー時代
に埋もれた女性作曲家の生涯 ウテ・ビュヒ
ター・レーマー著 宮原勇(名古屋大学教授)
監訳/米澤孝子(演奏家・指揮者)訳 女性に創
作活動が許されなかった時代、溢れる才能と
意欲に恵まれながら、弟の陰に隠れていた作
曲家の生涯。ISBN 978-4-86110-421-3 ¥2300
- 映画はやめるーパトリス・ルコント、自作を語
る P・ルコント著/H・プロロンジヨ聞き
手/桑原隆行訳 ISBN 978-4-86110-433-6 ¥3800
- クジラ解体
小関与四郎(写真家)
ISBN 978-4-86110-261-5 ¥15000
- フェルナン・レジェ オブジェと色彩のユートピ
アー キュニスムからフランス人民戦線まで
山本友紀 ISBN 978-4-86110-405-3 ¥4500
- かほちやの下でーウガンダ戦争を生きる子ど
もたち 桜木奈央子(写真家) 写真・文/伊藤
氏賢解説 ISBN 978-4-86110-259-2 ¥1800
- 世界写真紀行ー美しい自然と文化を訪ねて
(海外編・国内編) 渋谷典一
ISBN 978-4-86110-409-1 ¥3500
- 長唄の世界へようこそー読んで味わう、長唄
入門 細谷朋子(研究者)
ISBN 978-4-86110-400-8 二刷 ¥3400
- ドアの映画史ー細部からの見方、技法のリテ
ラシー 吉田眸(京都産業大学教授)
ISBN 978-4-86110-264-6 ¥1800
- 深読み映画論ー『暗い日曜日』の記憶
大野真(大妻女子大学教授)
ISBN 978-4-86110-198-4 ¥1905
- ただしいジャズ入門
中条省平(学習院大学教授)
ISBN 4-86110-057-7 ¥1600
- たのしいジャズ入門
寺島靖国(ジャズ喫茶「メグ」店主)
ISBN 4-86110-056-9 ¥1600
- アンヘリカの選択
丸岡永乃(画家・詩人)
ISBN 978-4-86110-337-7 ¥1800
- 君にシロツメメサの冠を
丸岡永乃(画家・詩人)
ISBN 978-4-86110-336-0 ¥1200
- ハロに染まるぜ！天オジャズ本
安原顯(スーパーエディター)
ISBN 4-921146-62-4 ¥2800
- フランス・ミュージカルへの招待
渡辺諒(早稲田大学教授)
ISBN 978-4-86110-344-5 ¥2000
- 邦訳「ガリヴァー旅行記」書誌目録
松菱多津男(公社社長)
ISBN 978-4-86110-276-9 ¥4600
- OTHER VOICES 東大全共闘・68ー70
平沢豊(編集者)
ISBN 4-86110-026-7 ¥2800
- 詩集 輪郭のない自画像
木端美人
ISBN 978-4-86110-457-2 ¥2300
- デテムシ 新美南吉詩歌集 石川勝治(長崎県
立大学名誉教授)・斎藤卓志(民俗学者)編
ISBN 978-4-86110-406-0 ¥1800
- 谷川健一全歌集
谷川健一(民俗学者・歌人)
ISBN 978-4-86110-104-5 ¥3800
- 風の想いー奈津
松永澄夫(立正大学教授)
ISBN 978-4-86110-378-0 ¥1500
- 邂逅
岩田澄江
ISBN 978-4-86110-324-7 ¥952
- 詩集 獲のプラン
ごんごのぼる
ISBN 978-4-86110-270-7 ¥1300
- 山桜花
廣利千恵子
ISBN 4-86110-077-1 ¥1429

詩歌・俳句



カメレオン

三浦衛(春風社代表)
秋田方言満載の詩集。自在に色を変え、
不意に突き刺さる、軽妙なことばの戯
れ。本文は金属活字による活版印刷。
跋文・佐々木幹郎氏。
菊判変型・二四頁 定価(2200円+税)
ISBN 978-4-86110-473-2

赤いレトロな焙煎機

遥かなる南米大陸をめざして
玉川裕子(ラジアル民族文化研究センター研究員)
珈琲鑑定士資格取得のため単身ブラジルへ。
私的な旅日記と短歌から垣間見られる作者
の孤独、自己認識。跋文・岡井隆氏。
四八判変型上製・二八頁 定価(1500円+税)
ISBN 978-4-86110-495-4



観光

山ふたり一関東・尾瀬・熊野編
三輪敏広・三輪和恵
まさに山あり谷あり、予想外のトラブルもふたりなら楽しい。今回は、天城・丹沢、奥秩父、大菩薩嶺、武尊山・赤城山、武甲山、四阿屋山、両神山、尾瀬、谷川連峰など。
ISBN 978-4-86110-510-4 ¥2400

山ふたり一新潟・富山・福井・長野編
三輪敏広・三輪和恵
ふたりで山を歩いていけば、つらいことも、病気のことも、すべて忘れて元気になる。夫婦で歩く山への旅。最終巻は、妙高連峰、雨飾山、権現岳、越後駒ヶ岳など。
ISBN 978-4-86110-511-1 ¥2300

山ふたり一鈴鹿・大峰・四国・山陰編
三輪敏広・三輪和恵
ISBN 978-4-86110-382-7 ¥2000

突撃！よこはま村の100人―自転車記者が行く 佐藤将人(神奈川県新聞記者)
ISBN 978-4-86110-316-2 ¥1500

日本初の海外観光旅行―九六日間世界一周 小林健(明海大学教授)
ISBN 978-4-86110-178-6 ★ ¥2200

瀬戸内、鳥瞰の旅―風景の奥を読む 伊藤松雄(四国学院大学教授)
ISBN 978-4-86110-360-5 ¥1800

観光地の興味期限―「暮らしと観光」の文化論 古池嘉和(富山大学教授)
ISBN 978-4-86110-120-5 ¥1800

おばさんへトナム留学記 中嶋弘子
ISBN 978-4-86110-297-4 ¥1500

おばさんへ一辺境を行く 外川洋子
ISBN 978-4-86110-100-7 ¥1500

おばあちゃん！世界遺産を行く 外川洋子
ISBN 978-4-86110-249-3 ¥1500

おばあちゃん！豚となって木に登る 外川洋子
ISBN 978-4-86110-398-8 ¥1500

環境・自然・健康

農の6次産業化と地域振興 熊倉功夫(静岡文化芸術大学学長) 監 米屋武文(静岡文化芸術大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-437-4 ¥2150
富士山への招待―NPOが富士山と地域を救う 渡辺豊博(元都留文科大学教授)
ISBN 978-4-86110-229-5 ¥1500

失敗しないNPO―グラウンドワーク三島の20年とイギリスに学ぶ 渡辺豊博(元都留文科大学教授) 編著 ISBN 978-4-86110-353-7 ¥1500
英国発グラウンドワーク―「新しい公共」を実現するために 渡辺豊博・松下重雄(金沢大学准教授) ISBN 978-4-86110-232-5 ¥1500

三島のジャンボさん―ミスター・グラウンドワーク 渡辺豊博(元都留文科大学教授)
ISBN 978-4-86110-233-2 ¥1429

世界遺産の自然と暮らし 今井一郎(関西学院大学教授)
ISBN 4-921146-98-5 ¥1905

英和の森の植物たち―感じる、遊ぶ、食べる 中池敏之・川崎末美(東洋英和女学院大学教授)
ISBN 978-4-86110-321-6 ¥2600

コパタンの繁殖―絶滅危惧種保存への挑戦 石川文也(日本鳥学会会員) ISBN 978-4-86110-195-3 ★ ¥2800

背骨ゆらゆら健康法―自分でできるお手軽気功術 朱剛(神密気功師)
ISBN 978-4-86110-127-4 ¥1200

気功瞑想でホッとする 朱剛(神密気功師)
ISBN 978-4-86110-189-2 ★ ¥1800

横浜市立大学新叢書

資料を見て考えるホロコーストの歴史―ヴァンゼー会議とナチス・ドイツのユダヤ人絶滅政策 ヴァンゼー会議記念館 編著/山根徹也(横浜市立大学准教授)・清水雅大(横浜市立大学客員研究員) 訳 ヴァンゼー会議記念館常設展示図録を訳出。ホロコーストの全貌を伝える。
ISBN 978-4-86110-461-9 ¥2000

韓国の財政と地方財政 鞠重鎬(横浜市立大学教授)
歴代政権別の経済財政運営、歳入や歳出に係わる主要指標から見た特徴、租税政策・社会保障政策。さらに日韓の類似点・相違点を明らかにし、政策評価を行う。
ISBN 978-4-86110-460-2 ¥3000

レリギオ―《宗教》の起源と変容 三上真司(横浜市立大学教授)
ISBN 978-4-86110-452-7 ¥3000

日中間戦争と中国人文学者―郁達夫、柯靈、陸蠡らめぐって 鈴木正夫(横浜市立大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-411-4 ¥3500

天狼俳句の英訳―誓子・敏雄・綾子 古平隆(横浜市立大学名誉教授)
ISBN 978-4-86110-384-1 ¥3000

過去の再演を越えて―精神的分析的ロール・プレイング 川幡政道(横浜市立大学名誉教授)
ISBN 978-4-86110-374-2 ¥3000

読んで愉しむイギリス文学史入門 白井義昭(横浜市立大学名誉教授、立正大学教授)
ISBN 978-4-86110-372-8 二刷 ¥1500

普仏戦争―籠城のバリバリー 松井道昭(横浜市立大学名誉教授)
ISBN 978-4-86110-373-5 ¥3000

立教大学人文叢書

人間精神の多彩な働きを考究する横断的人文学の試み。全五巻！
1 人文資料学の現在― 浦野聡他 編著
ISBN 4-86110-063-1 ¥2200

2 文学の基礎レッスン 後藤和彦 編著
ISBN 4-86110-087-9 ★ ¥2200

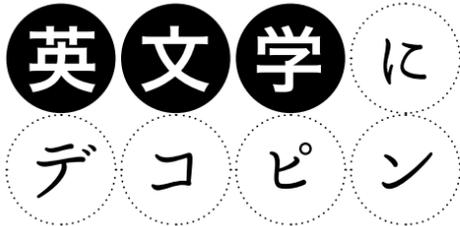
3 肖像と個性 藤巻明他 編著
ISBN 978-4-86110-138-0 ¥2200

4 人文資料学の現在Ⅱ 菅谷憲典 編
ISBN 978-4-86110-163-2 ¥2200

5 書簡を読む 桑瀬章二郎 編
ISBN 978-4-86110-194-6 ¥2200

古代文字史料の中心性と周縁性 立教大学東アジア地域環境問題研究所/深津行徳・浦野聡 編著
ISBN 4-86110-067-4 ¥3500

阿部公彦



4 ブレイクの喜び具合

しかも、語られているのは「喜び」なのだ。実は私は、上島先生の「何か意見があったら書いて出さない」という言葉を真に受け、'I happy am'という箇所について、汚い字で長い「思弁」を書き連ねて先生の研究室にお持ちしたのである。そんなことをする空気の読めない学生は他にはいなかった。でも、上島先生は授業中、私の汚い字の「思弁」を丁寧にとりあげ、御自身の考えをまじえて展開してくださいました。ぐちゃぐちゃした思いつきは、上島先生の手にかかって実存主義とか、存在論という話に昇華される―手品のよう。その後、時は流れ、私のところにも汚い字で長々と「思弁」を書き連ねる空気の読めないような学生がたまにくるが、何だか親近感が湧いて冷たくする気にはなれないのである。

それにしても、生後二日の子どもが「嬉しいねえ。オレの名は「喜び」だよ♪」なんて語るのはいまだ。ブレイク自身、ロマン派の中でもとりわけ「空気が読めない系」だったようだが、この微妙に神経にさわる喜びの横溢はやっぱり希有なものだ。(英文学者)

私が大学生一年の頃は、まだ英語の必修授業でも文学作品を読むことが多かった。上島建吉先生の「ロマン派入門」もその一つ。最初に読んだのはウィリアム・ブレイクの'Infant Joy'だ。ごく短い作品である。'I have no name/ I am but two days old.— / What shall I call thee? / I happy am/ Joy is my name,— / Sweet joy befall thee!' これが前半。さて、その先は？ きっと何かが起きるよね？ 落とし前がつくよね？ と思って読むと。…Sweet joy I call thee; / Thou dost smile. / I sing the while/ Sweet joy befall thee.' これでおしまい。

「え？ これでおしまい？」と言いたくなる。後半でも新しい展開はなく、前半の対話に対する祝福だけがある。一種のコーラスだ。もちろん『無垢の歌』(Songs of Innocence)という詩集全体の流れの中にある作品だから、これですべてではないし、詩とセットの挿絵も大事だ。でも、それにしても「これだけ？」感に残る。

しかし、この中途半端さが、私にはむしろ魅力的に思えた。わかりやすいオチがない、終わらない。どことなく不安定。

東洋英和女学院大学 社会科学叢書



EU統合を読む 現代ヨーロッパを理解するための基礎 小久保康之(東洋英和女学院大学教授) 編著。EUはどのように発展してきたのか。歴史、経済から各国の最新事情まで、難民・テロ問題を考えるうえでも必読の一冊！
ISBN 978-4-86110-483-1 ¥2500

ネット空間を変えるモバイル社会 東洋英和女学院大学メディア・コミュニケーション研究所 編 ISBN 978-4-86110-444-2 ¥2500

グローバリゼーションとリスク社会 岡本浩一(東洋英和女学院大学教授) パトリシア・スィンベル(東洋英和女学院大学教授) 編 ISBN 978-4-86110-403-9 ¥2500

総記・辞典・事典



異文化コミュニケーション事典 石井敏・久米昭元 編集代表
ISBN 978-4-86110-333-9 ¥7600

ニューシニア下百科事典 ナチーシニア下学芸編
ISBN 978-4-86110-111-3 ¥9333

ダンテ神曲原典読解語源辞典(地獄)(煉獄)(天国) 福島治 ISBN 4-921146-77-2 ★/4-921146-78-0 ★/4-921146-79-9 ★各巻¥46000

ブラジル雑学事典

田所清克(京都外国語大学名誉教授) いまブラジルがますます熱い！ 知ろう、学ぼう、感じよう！ ブラジル研究の第一人者であり、ブラジルを愛してやまない著者が、40年にわたるフィールドリサーチに基づき、生活・文化・社会などを子細に解説。この1冊でブラジルが好きになる!!
A5判並製・四四八頁 定価(5000円+税)
ISBN 978-4-86110-496-1

現代日本語モングル語辞典 橋本勝(大阪大学名誉教授) / E・プレブジャン
ISBN 4-921146-33-0 ¥15000

日本の英語辞書と編纂者 愛知大学文学部書刊 早川勇(愛知大学名誉教授)
ISBN 4-86110-064-X ¥6600

スペイン語語源辞典 太田強正(神奈川大学教授)
ISBN 978-4-86110-332-2 ¥2000



ベトナム語母語話者のための日本語教育

ベトナム人の日本語学習における困難点改善のための提案
松田真希子 (金沢大学准教授)
ベトナム語母語話者が日本語の文法/語彙/コミュニケーションを学ぶ際に、どの段階で習得が困難なのかを検討。最も効果的な日本語習得方法をデザインする。
A5判並製・三〇二頁 定価(3600円+税)
ISBN 978-4-86110-491-6

Experimental Studies on Prosodic Features in Second Language Acquisition 伊庭緑 (甲南大学教授) ISBN 978-4-86110-235-6 ¥4600

Languages and Language Policies in Insular Southeast Asia 河原俊昭 (元京都光華女子大学教授) ISBN 4-921146-64-0 ¥5950

Indigenous Languages Revitalized? 松原好次 (元電気通信大学教授) ISBN 4-921146-15-2 ¥5524

はじめての論文—語用論的な視点で調査・研究する 田中典子 (清泉女子大学教授) ISBN 4-86110-349-0 ¥1800

The Pragmatics of Uncertainty 田中典子 (清泉女子大学教授) ISBN 4-921146-22-5 ¥5333

フラクタルテキスト・ワークシミュレーション—身のまわりの言葉を語用論的に見る 田中典子 (清泉女子大学教授) ISBN 4-86110-073-9 ¥1800

L'interaction Exolingue: Analyse de Phénomènes Linguistiques 石川文也 (立教大学教授) ISBN 4-921146-59-4 ¥8476

La transmission des savoirs: une analyse dynamique du discours 石川文也 (立教大学教授) ISBN 978-4-86110-302-5 ¥5524

「俗語」から「国家語」へ—スペイン黄金世紀の言語思想史 岡本信照 (京都外国語大学教授) ISBN 978-4-86110-291-2 ¥3333

言いさし発話の解釈理論—「会話目的達成スキーマ」による展開 萩原雅佳子 (明海大学教授) ISBN 978-4-86110-160-1 ¥4381

自由と尊厳を超えて B・F・スキナー著/山形浩生訳 行動の原因を心ではなく環境に求め、よりよい世界を科学的に作りだすことを説く。心理学界に絶大な影響を与え、自由と尊厳の見方をくつがえした名著、待望の新訳!

スプリチュアル心理学入門 石川勇一 (相模女子大学教授) ISBN 978-4-86110-179-3 ¥2095

デイケアの心理学 浮田徹嗣 (横浜市立大学准教授) ISBN 978-4-86110-306-3 ¥3000

コロロトリゼン 佐賀枝夏文 (大谷大学教授) ISBN 978-4-86110-282-0 ¥1300

環境心理学—環境デザインへのバーステュープ 植究 (実践女子大学教授) ISBN 4-86110-010-0 二版二刷 ¥2286

ロール・プレイング—即興劇による人間の探求と治療 川幡政道 (横浜市立大学名譽教授) ISBN 978-4-86110-155-7 ¥2381

見捨てられる不安—家族と社会の現在 川幡政道 (横浜市立大学名譽教授) ISBN 978-4-86110-158-8 ¥2200

魂のかけら—ある物理学者の神秘体験 佐川邦夫 ISBN 978-4-86110-095-6 ¥1800

現代の学校を読み解く

学校の社会的意義が揺らぎつつある現代。若き教育者たちが、教育現場の最前線から教育の未来を描く視点を提示する。
A5判並製・三〇六頁 定価(2300円+税)
ISBN 978-4-86110-504-3



日本統治下台湾の教育認識

書房・公学校を中心に 吳宏明 (元京都精華大学教授)
台湾の伝統的な教育機関「書房」と、日本統治時代に日本語教育を推進する目的で設立された「公学校」の変遷を様々な資料から考察。占領期台湾の初等教育の実相を明らかにする。
四六判上製・三三三頁 定価(3500円+税)
ISBN 978-4-86110-505-0

世界初 市民性教育の国家規模カリキュラム

20世紀初期アメリカNEA社会科委員会報告書の事例から 渡部竜也 (東京学芸大学准教授) 編訳
20世紀初頭に合衆国で誕生した「社会科教育」。全米教育委員会(NEA)が世界に先駆けて発表した「市民性教育」の重要性を説く二つの報告書を翻訳、後の社会科教育への影響を論じる。
A5判上製・二三八頁 定価(4722円+税)
ISBN 978-4-86110-490-9



英語と開発—グローバル化時代の言語政策と教育 F・サージェント、E・J・アーリン 編、松原好次 (元電気通信大学教授) 監訳 英語教育の普及が、貧困からの脱却や識字率向上に寄与している反面、格差の拡大や多様性の排除などをもたらす実態を多角的に考察。
ISBN 978-4-86110-471-8 二刷 ¥3500

英語の名詞をきわめる—可算名詞と不可算名詞の使い分け 小林悦雄 (立教大学教授)
Fruitやwaterは「数えられない名詞」? silenceとa silenceの違いは? 日本人学習者の苦手な「可算名詞・不可算名詞の使い分け」をマスター。理解から実用へ!
ISBN 978-4-86110-470-1 ¥1800

ベル語とティフィナク文字の基礎—タリーフット語 (Taliit) 入門 石原忠佳 (創価大学教授) 北アフリカの広い地域に住み、文化的な独自性を維持する民族、ベルベル人。その歴史とベルベル語を学ぶ一冊。世界初の体系的な文法書。音声CD別売。
ISBN 978-4-86110-394-0 ¥4286

英文法は役に立ち!—英語をもっと深く知りたい人のために 古田直肇 (東洋大学専任講師)
He talks well. He talks good. 正しいのはどちら? canの過去形couldは「過去」を表すなら? 本当に「使える」英文法のエッセンスを分かりやすく教えます。
ISBN 978-4-86110-434-3 ¥2000

第二言語学習と個性 津田塾大学言語文化研究所言語学習の個性研究グループ編
ISBN 978-4-86110-065-9 ¥1600

Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis 鈴木憲夫
ISBN 978-4-86110-114-4 ¥7619

英語のルーツ 唐澤一友 (駒澤大学教授) ISBN 978-4-86110-283-7 ¥2000

英語の名詞をきわめる—可算名詞と不可算名詞の使い分け 小林悦雄 (立教大学教授) ISBN 978-4-86110-399-5 ¥2500

英単語のDSH 早川勇 (愛知大学名譽教授) ISBN 978-4-86110-217-2 ¥1800

英語教育の精神と実践—コミュニケーションから英米文学まで 岡田善明 (日本大学講師) ISBN 978-4-86110-361-2 ¥1800

ビジネスドイツ語—レター&Eメールの書き方と例文 石居龍一 (コンサルタンツ) ISBN 978-4-86110-377-3 ¥1905

英語教育の実践—日本人のための英語学習論 小谷悠紀子 (東京電機大学名譽教授) ISBN 978-4-86110-364-3 ¥3800

フェイス相互作用理論—日本語学習クラスにおける相互作用からフェイスワークをとらえる 横溝環 ISBN 978-4-86110-286-8 ¥4667

英語のルーツ 唐澤一友 (駒澤大学教授) ISBN 978-4-86110-283-7 ¥2000

今、田村明を読む

横浜市立大学教授 鈴木伸治



親が鉄道会社に勤めていたこともあり、都市やインフラに対して子供のころから関心を持っていました。学生時代に田村明の『都市ヨコハマをつくる—実践的まちづくり手法』(中公新書)を読んだことも、都市計画の研究を志すきっかけになりました。

この度『今、田村明を読む—田村明著作選集』の編者を務めさせていただくことになりましたが、私としては、都市プランナー田村明のことを知らなかったという若い方にこそ読んでいただきたい。高速道路、港湾などのインフラは「そこに当たり前のようにあるもの」として誰もが利用しています。でもひとつひとつのインフラは、さまざまな考えを持つ人びとが関わりながら、多くの紆余曲折を経てできているものです。1960年代に田村が推進した横浜市六大事業(港北ニュータウン、ベイブリッジ、地下鉄など)もまさにそうです。

日本は人口が減少し、高齢化が急速に進んでいます。もはやハード面だけを磨いても意味がない。そこに住む人の精神的な満足度、生活の質などのソフト面をいかに向上させるかを考えていく必要があります。だから右肩上がりの時代に活躍した田村明と同じことを現代にしても仕方ない。でもその精神、まちづくりに対する思想には時代を超えた普遍性がある。田村は「都市は市民のためにある」(1965年)という論考では「物偏重から、ふたたび人間独自の価値を発見しなおすこと」が次の時代の課題と述べています。今がまさにその時代です。

これからは、都市をどう作るかではなく、都市をどう向き合うか、ということを考えていかなければならない。まちづくりのマネジメントの仕組みを作り上げた田村明にはそのためのヒントが豊富にある。それが、今、田村明を読むことの意義だと思います。

(11頁に本の紹介)



コモン・グッドのための歴史教育―社会文化的アフローチ リンダ・S・レウスティク／キース・C・バートン 著／渡部竜也・草原和博・田口絃子・田中伸訳

教師のゲートキーピング―主体的な学習者を生む社会科学カリキュラムに向けて S.J.ソーントン 著／渡部他訳 ISBN 978-4-86110-328-5 ￥2857

変革的知識人としての教師―批判的教授法の学びに向けて ヘンリー・A・ジルー 著／渡部竜也訳 ISBN 978-4-86110-375-9 ￥3333

キリスト教人格教育論―個人の尊厳を見つめて 吉岡良昌 (元東洋英和女学院大学教授) ISBN 978-4-86110-417-6 ￥3300

いのちを育む教育学 吉岡良昌 (元東洋英和女学院大学教授)・大川洋 (国際基督教大学上級准教授) ISBN 978-4-86110-143-4 ￥2200

アメリカ教育福祉社会史序説―ビジティンク・ティーチャーとその時代 倉石一郎 (京都大学准教授) ISBN 978-4-86110-416-9 ￥3000

物語が始まるとき―共創教育の現場から 青木幸子 (昭和女子大学准教授) ISBN 978-4-86110-415-2 ￥1800

ワークショップで学ぶ 生徒指導・進路指導の理論と方法 林尚示・服部伴文・村木見 ISBN 978-4-86110-355-1 ￥2000

「ネイティブ」とよばれる日本語教師―海外で教える母語話者日本語教師の資質を問う 平畑奈美 ISBN 978-4-86110-390-2 ￥3500

日中教育対話―川三 芳凱声／山崎高哉 共編 ISBN 978-4-86110-159-5 ￥3200 / ISBN 978-4-86110-220-2 ★ ￥2800 / ISBN 978-4-86110-248-6 ★ ￥3200

言語教育とアイデンティティ―こはの教育実践とその可能性 細川英雄 (早稲田大学名誉教授) 編 ISBN 978-4-86110-289-9 ★ ￥2800

私はどのような教育実践をめざすのか―言語教育とアイデンティティ 細川英雄・鄭京姫 編 ISBN 978-4-86110-379-7 ￥2800

体当たり校長の学校づくり―8年間のニースラター 横山芳春 (豊見城市立座安小学校校長) ISBN 978-4-86110-340-7 ￥2381

子どもの心にとく授業―三重県桑名市立藤が丘小学校における六年 伊藤新司 編著 ISBN 978-4-86110-326-1 ￥2381

海峡を越えて―京畿高等女子学校の思い出 太田孝子 (岐阜大学教授) ISBN 978-4-86110-157-1 ★ ￥2200

母の愛が奇跡を生む―発達遅れに挑むライニング・ホックス学習法 立川勲 編 ISBN 978-4-86110-098-7 ★ ￥1500

戦前 感化・教護実践史 佐々木光郎・藤原正範 編 ISBN 4-921146-18-7 ★ ￥4800

昭和戦前期の少年教護実践史(上・下) 佐々木光郎 上 ISBN 978-4-86110-330-8 下 ISBN 978-4-86110-331-5 各巻 ￥3500

新版 生涯学習と地域社会教育 末本誠 (神戸大学大学院教授)／松田武雄 (名古屋大学大学院教授) 編 ISBN 978-4-86110-234-9 ￥2476

学びを開くNIE―新聞を使ってどう教えるか 影山清四郎 (横浜国立大学名誉教授) 編著 ISBN 4-86110-080-1 ￥2381

ポストモダンの自由管理教育―スキゾ・キッズからマルチ・キッズへ 柳沼良太 (岐阜大学大学院准教授) ISBN 978-4-86110-241-7 ￥2200

竹内レズン―ライブ・アット大阪 竹内敏晴 (演出家) ISBN 4-86110-076-3 ★ ￥2600

実感から関係化へ―ある重度重複障害者と関わりつゝ 遠藤司 (駒澤大学教授) ISBN 978-4-86110-237-0 ￥2381

高藤喜博研究の現在 横須賀薫 (十文字学園女子大学学長) 編 ISBN 978-4-86110-314-8 ★ ￥4600

新版教師養成教育の探究 横須賀薫 (十文字学園女子大学学長) ISBN 978-4-86110-245-5 ★ ￥2200

教育の経済―成り立ちと課題 三上和夫 (神戸大学名誉教授) ISBN 4-8-6110-049-6 ￥3200

増補「いい子」の非行―家裁の非行臨床から 佐々木光郎 (元静岡英和学院大学教授) ISBN 4-921146-91-8 ￥1800

デューイ：人間性実現への教育―米国内カリキュラム開発を考える 海谷則之 (龍谷大学名誉教授) 編 ISBN 4-921146-57-8 ★ ￥2857

幼児キャンプ―雪の体験 山梨幼児野外教育研究会 監修 ISBN 4-921146-40-3 ￥1905

先生、いのちのことを教えて―引き揚げから養護教諭へ 引地ユリ ISBN 978-4-86110-269-1 ★ ￥952

作法学の誕生 山根一郎 (福山女子園大学教授) ISBN 4-921146-97-7 ★ ￥2800

政治・経済



日中比較産業史―取引慣行と制度に見る戦前期日中経済の特質

四方田雅史 (静岡文化芸術大学准教授) 戦前期における日本と中国の在来産業を、取引慣行や中間組織などの制度的観点から比較し、両国経済の歴史的特質を抽出。東アジアを基盤とした労働集約的産業の「制度間競争」「産業システム間競争」の諸相を解明する。 ISBN 978-4-86110-486-2 ￥3700

近代政治思想の基礎―ルネッサンス、宗教改革の時代 クエンティン・スキナー 著／門間都喜郎訳 ISBN 978-4-86110-181-6 ￥7600

アメリカの対日通貨政策の形成―1971―2003年の日米通貨交渉を事例として 増永真 ISBN 978-4-86110-359-9 ￥2700

フランス帝国主義と中国―第一次世界大戦前の中国におけるフランスの外交・金融・商工業 篠永宣孝 ISBN 978-4-86110-136-6 ￥5714

世界金融危機日中の対話―円・人民元・アジア通貨金融協力 上川孝夫・李曉 編 ISBN 978-4-86110-203-5 ￥3500

党人 河野一郎―最後の十年 河野洋平 監修／小枝義人 著 ISBN 978-4-86110-212-7 ★ ￥1714

戦争の読みかた―グローバル・テロと帝国の時代(1) 加藤朗 (桜美林大学大学院教授) ISBN 978-4-86110-144-1 ★ ￥2200

生命の経済学―生物学による経済学再構築 富森茂児 (北海道大学名誉教授) ISBN 978-4-86110-161-8 ￥2381

伊藤昌哉 政論 小枝義人 (千葉科学大学教授／拓殖大学委員教授) ISBN 4-86110-085-2 ★ ￥1700

「新自由主義」をぶっ壊す 青木育志 (研究者) ISBN 978-4-86110-226-4 ★ ￥1600

ポストモダンの処方箋

17 この狂気から抜け出すために 白井聡

脱出する一方、IMFの構造調整プログラムを受け入れた諸国は、多国籍金融資本による収奪のシステムに深く絡め捕られていく。しかし、この収奪システム自体も、2008年のリーマン・ショックによって、自己の構造的欠陥を露にするのである。

これらのプロセスに対して無抵抗を貫いた日本の姿勢こそ、「失われた20年」の主要因である。90年代の好機を逸することで、経済領域での対米従属は一層強化され、今日のTPPへとそれはつながる。そして、まさにこのような下部構造にも規定されるかたちで、政治領域での異様な対米追従が決定づけられ、かつそれを「戦後レジームからの脱却」と呼ぶという狂気の沙汰がまかり通っているわけである。

状況は厳しい。しかし、現実を認識するところからしか何も始まりはしない。状況認識の甘さこそが、今日の政治の極限的な墮落・腐敗を許容している、当のものだ。ここから脱却することが、本当の意味での「戦後レジームからの脱却」の第一歩となる。(政治学者)

新著『戦後政治を終わらせる―永続敗戦の、その先へ』を、NHK出版新書から刊行することになった。71年目に入った「戦後レジーム」の歩みを私なりの視点から振り返り、「永続敗戦レジーム」をいかにして脱却するのか、その方途を模索した。

その過程であらためて実感したのは、90年前後に冷戦構造が崩壊した後、この国が新しい状況に対応できず、その結果として今日の無惨な政治・経済・社会状況が生まれている現実であった。冷戦後の新状況に対応するチャンスはあった。それらがすべて逃された結果こそ、今日の底なし沼的な対米従属の畸形的深化にほかならない。

そのチャンスとしてしばしば言及されるのは、「アジアへの着地」へとようやく重い腰を上げた河野談話(1993)や村山談話(1995)である。だが、機会は歴史認識問題だけではなかった。1997年にはアジア通貨危機が発生し、これへの対応として日本はアジア通貨基金構想を打ち上げる。しかし、結局のところ、米国に屈するかたちで同構想は頓挫した。今から振り返れば、アジア通貨危機をめぐる政治経済のプロセスは、重要な分岐点であった。IMFに従わなかったマハティールのマレーシアが危機から真っ先に

社会・歴史



オール・アバウト・ラブ 愛をめぐる13の試論 ベル・フックス 著

宮本敬子 (西南学院大学教授)

大塚由美子 (北九州市立大学ほか非常勤講師) 訳

全米ベストセラー、初の邦訳! 人種やセクシュアリティによる抑圧を批判し、消費社会のなかで消費できないものと出会う喜びを訴える。四六判版フランス語・二八〇頁 定価(2300円+税) ISBN 978-4-86110-492-3



歴史教科書とナショナリズム 日本とドイツ 原口健治 著

原口健治 (青山学院大学教授)

ドイツの歴史教科書にはナチズムを厳しく追及する記述が多く含まれる。これは「自虐的」だろうか。日独の比較を通して、歴史教科書問題の背景にある、国家・国民像とアイデンティティのあり方を考える。 四六判上製・三〇〇頁 定価(2700円+税) ISBN 978-4-86110-506-7

宝は田から しあわせの農村民俗誌 山形県米沢

佐野賢治 (神奈川大学教授)

人々の「しあわせ」を願う学問であった柳田民俗学を継ぎ、40年以上通いつづけた山形県置賜地方。そこに生きる人々の自然との対立、協調、共生の営を描く。変わりゆく現代世界を見据えた民俗誌。 四六判上製・三〇〇頁 定価(3500円+税) ISBN 978-4-86110-507-4





先生、NPOって儲かりますか？―若者たちが地元で賢く生きる方法 渡辺豊博（元都留文科大学教授） 地方にはビジネスチャンスがあるってどういふこと？ NPOの伝道師「三島のジャンボさん」がお届けする、楽しく学べるNPOビジネス&地方創生論！ ISBN 978-4-86110-480-0 ¥1389

今、田村明を読む―田村明著作選集

鈴木伸治（横浜市立大学教授）編 戦後横浜の「まちづくり」を担った都市プランナー・田村明。単行本化されていない論考のなかから、都市やまちづくりに対する思考の軌跡を示す8編を精選。 ISBN 978-4-86110-508-1 ¥2000

ケニアへかけた虹の橋―30年の国際ボランティア活動 NPO法人「少年ケニアの友」編 孤児院支援、医療検診、奨学金創設、洋裁指導、「かまじ」設置などの実践例のほか、国内でできる支援事例も掲載。NGO・NPO活動のヒント満載！ ISBN 978-4-86110-485-5 ¥1833

インド・イスラーム王朝の物語とその建築物―テリ・スルターン朝からムガル帝国まで500年の歴史をたどる 宮原辰夫（文芸大学教員） ヒンドゥー教が圧倒的に優勢なインドに多数残るイスラーム建築。一次史料をもとにした、歴史遺産をめぐる知的ガイドブック。 ISBN 978-4-86110-509-8 ¥2700

「幻の東京オリンピック」の夢にかけた男―日本近代スポーツの父・岸清二物語

古城庸夫（江戸川大学准教授） 昭和初期、スポーツの普及と平和に半生を捧げた男が追い続けた「東京オリンピック開催」という壮大な夢。その偉業の、知られざる軌跡をたどる。 ISBN 978-4-86110-484-8 ¥2000

ホストセリングを知っていますか？―日本の子ども向けテレビCMの実態 山下玲子、藤井達也 ISBN 978-4-86110-435-0 ¥3000

北の商都「小樽」の近代―ある都市の伝記 内藤辰美（山形大学名誉教授） ISBN 978-4-86110-450-3 ¥3900

米国の沖縄占領と情報政策―軍事主義の矛盾とカモフラージュ 吉本秀子（山口県立大学准教授） ISBN 978-4-86110-451-0 ¥5500

変容するテレビニュースとキャスターの役割 深澤弘樹（駒澤大学准教授） ISBN 978-4-86110-432-9 ¥3400

婚姻連帯論と社会学―レヴィ・ストロース・デュルケムをめぐって 門口充徳（成蹊大学名誉教授） ISBN 978-4-86110-423-7 ¥4900

ヘリーと黒船祭―日米文化外交史 佐伯千鶴（北アブママ大学准教授） ISBN 978-4-86110-425-1 ¥2200

雛の誕生―雛節供に込められた対の豊穡 皆川美恵子（十文字学園女子大学名誉教授） ISBN 978-4-86110-439-8 ¥3800

スイスの歴史ガイド グレゴワール・ナッペイ 著／藤野成爾 訳 ISBN 978-4-86110-413-8 一刷 ¥1800

地域と越境―「共生」の社会経済史 内田日出海・谷澤毅・松村岳志 編 ISBN 978-4-86110-407-7 ¥3500

グレゴリオ・テ・セスヘデス―スペイン人宣教師が見た朝鮮と文禄・慶長の役 朴哲 著／谷口智子 訳 ISBN 978-4-86110-366-7 ¥4600

多文化組織の日本人リーダー像―ライフストーリー・インタビューからのアプローチ 石黒武人 ISBN 978-4-86110-322-3 ¥3000

不思議フランス 魅惑の謎 藤野敦子（京都産業大学教員） ISBN 978-4-86110-401-5 一刷 ¥1800

マーケティング・デモクラシー―世論と向き合う現代米政治の戦略技術 平林紀子（埼玉大学教員） ISBN 978-4-86110-387-2 ¥4600

前川教授の人生、血液型。―血液型が信じられる34の理由 前川輝光（亜細亜大学教員） ISBN 978-4-86110-396-4 ¥1500

保甲のシム 中島岳志（東京工業大学教員） ISBN 978-4-86110-227-1 ¥1800

越境者の世界史―奴隷・移住者・混血者 弘末雅士（立教大学教員）編 ISBN 978-4-86110-386-5 ¥2500

変容する冷戦後の世界―ヨーロッパのリベラル・デモクラシー 永松雄彦・萬田悦生 編 ISBN 978-4-86110-224-0 ¥2381

空間のエスノグラフィ―文化を横断する 川床靖子（大東文化大学名誉教授） ISBN 978-4-86110-367-4 ¥2700

学習のエスノグラフィ―タンザニア、ネパール、日本の仕事場と学校をフィールドワークする 川床靖子 ISBN 978-4-86110-113-7 ¥2381

「敵国語」ジャーナリズム―日米開戦とアメリカの日本語新聞 水野剛也（東洋大学教員） ISBN 978-4-86110-258-5 ¥5200

日系アメリカ人強制収容とジャーナリズム―リベラル派雑誌と日本語新聞の第二次世界大戦 水野剛也 ISBN 4-86110-038-0 ¥4600

中心と周縁―タイ、天草、シカゴ 佐久間美穂（川村学園女子大学講師）・内藤辰美（山形大学名誉教授） ISBN 978-4-86110-369-8 ¥3500

1920年代の日本と国際関係―混沌を越えて「新しい秩序」へ 杉田米行（大阪大学教員） ISBN 978-4-86110-262-2 ¥2500

ネットワーク社会と空間のポリテイクス―都市・モダニティ・グローバリゼーション 大澤善信 ISBN 978-4-86110-202-8 ¥2800

頭山満と近代日本 大川周明 著／中島岳志 編・解説 ISBN 978-4-86110-134-2 ¥2200

ブラジルの都市問題―貧困と格差を越えて 住田育法（京都外国語大学教員）監修 ISBN 978-4-86110-173-1 ¥3619

フランス革命を旅したイギリス人―リクビー博士の書簡より E・リクビー 著／川分圭子（京都府立大学教員）訳 ISBN 978-4-86110-171-7 ¥2381

貧困をどのように捉えるか―H・ガンスの貧困論 西村貴直（関東学院大学准教授） ISBN 978-4-86110-343-8 ¥3333

黒人差別と国民国家―アメリカ・南アフリカ・ブラジル A・W・マークス 著／富野幹雄他 訳 ISBN 978-4-86110-107-6 ¥6190

イングランドの地名―起源と歴史を訪ねて K・キヤメロン 著／古見昭徳 明治学院大学名誉教授 訳 ISBN 978-4-86110-290-5 ¥4286

ラルテ・ウエトラリア―17世紀初頭のガラス製造術 アントニオ・ネリ 著／日本ガラス工業学会 編 ISBN 978-4-86110-131-1 ¥5000

表象のヴェネツィア―詩と美と悪魔 鳥越輝昭（神奈川大学教員） ISBN 978-4-86110-329-2 ¥2800

イランとイスラーム―文化と伝統を知る 森茂男（元大阪大学教員）編 ISBN 978-4-86110-215-8 ¥2381

旅する対話―ディアスポラ・戦争・再生 姜信子（作家）、ザラ・イマーエワ（映像作家） ISBN 978-4-86110-350-6 ¥1800

現在と性をめぐらる。の試論―言語・社会学からのアプローチ 小玉亮子（お茶の水女子大学教員）編著 ISBN 978-4-86110-171-5 ¥1800

太平洋問題調査会「1925〜1961」とその時代 山岡道男（早稲田大学教員）編著 ISBN 978-4-86110-211-0 ¥4600

聖地と祈りの宗教社会学―巡礼ツーリズムが生み出す共同性 岡本亮輔（北海道大学准教授） ISBN 978-4-86110-315-5 ¥5000

サステイナブルな社会を目指して 木村武史（筑波大学准教授）編著 ISBN 978-4-86110-141-0 ¥2381

ガラスの文明史 黒川高明（元日本ガラス工業学会理事） ISBN 978-4-86110-172-4 ¥4762

ブルシエンシャフト成立史―ドイツ「学生結社」の歴史と意義 菅野瑞治也（京都外国語大学教員） ISBN 978-4-86110-304-9 ¥4200

移行期ロシアの繊維産業―ソビエト軽工業の崩壊と再編 藤原克美（大阪大学准教授） ISBN 978-4-86110-317-9 ¥4000

インターネット文化の諸相―グローバリゼーションを生きぬく知的戦略 若林一平（元文教大学教員） ISBN 978-4-86110-267-7 ¥3333

マスメディア論―現場と社説と地方紙と 大西正行（十文字学園女子大学教員） ISBN 978-4-86110-228-8 ¥1800

グローバリゼーション、市民権、都市―ヘクンスの社会学 岩水真治（明治学院大学教員） ISBN 978-4-86110-140-3 ¥3333

国際社会学の実践―国家・移民・NGO・ソーシャルビジネス 三橋利光（東洋英和女学院大学名誉教授） ISBN 978-4-86110-263-9 ¥2381

国際社会学の挑戦―個人と地球社会をつなぐために 三橋利光（東洋英和女学院大学名誉教授） ISBN 978-4-86110-142-7 ¥2381

19歳のライフデザイン 江戸川大学ライフデザイン学科 編 ISBN 978-4-86110-125-0 ¥1429

ヒトから人へ―一人前への民俗学 佐野賢治（神奈川大学教員） ISBN 978-4-86110-281-3 ¥2381

物権法概説 小泉健（一橋大学学長） ISBN 978-4-86110-221-9 ¥2800

僕の解放前後―一九四〇―一九四九 柳宗鎬 著／白燦 訳／太田孝子 日本語校員 ISBN 978-4-86110-164-9 ¥2800

かの冬、そして秋―僕の朝鮮戦争 柳宗鎬 著／白燦 訳／太田孝子 日本語校員 ISBN 978-4-86110-256-1 ¥2800

倭寇―商業・軍事史的研究 太田弘毅（元東北女子大学教員） ISBN 4-921146-51-9 ¥13000

世間師・宮本常一の仕事 斎藤卓志（民俗学者） ISBN 978-4-86110-156-4 ¥2200

保生大帝―台北大龍峒保安宮の世界 尾崎保子（元昭和女子大学教員） ISBN 978-4-86110-105-2 ¥2800

京都の中のドーナツ 青地伯水（京都府立大学教員）編 ISBN 978-4-86110-266-0 ¥2200

刺青墨譜―なぜ刺青と生きるか 斎藤卓志（民俗学者） ISBN 4-86110-053-4 ¥2800

台湾―メディア・政治・アイデンティティ 本多周爾（武蔵野学院大学大学院教員） ISBN 978-4-86110-216-5 ¥2381

牡牛と信鳥―「物語」としてのネパール 山本真弓／序 佐々木幹郎（詩人） ISBN 4-921146-60-8 ¥2200

本屋に行こう

BOOKSルーエ 〒180-0004 東京都武蔵野市吉祥寺本町1-14-3
TEL 0422-22-5677 <http://www.books-ruhe.co.jp/>



街と顔がつながる書店

吉祥寺の街の中心を走るサンロード商店街を少し入ったところにある書店「BOOKSルーエ」はいつも人の目をひく。平成3年に開業する以前は蕎麦屋・喫茶店を営んでいたという変わった経歴をもつ、地元に着した書店だ。

開放感のある店内の1階には新刊や雑誌、実用書、文芸書が置かれ、2階には文庫、新書や専門書、そして3階にはコミックやイラスト本が並べられている。店内の階段には、作家特集の展示やポスターなどが掲げられ、見て歩くだけでも楽しい。地元の吉祥寺を特集した雑誌も店頭が目立つように置かれ、街を意識した品揃えがなされている。「本屋は楽しい」。経営者である永井商事株式会社・代表取締役の永井健さんはそう語る。売場の品揃えは書店の各担当に任せながら、「店舗を見やすく」「接客を重視」して「限られた坪数で勝負」することに力を注いでいる。吉祥寺の書店は競争が激しく、経営を続けていくことには多くの困難もあるという。

しかし、「もう一度行きたいと思われる店作りを心掛けている」と、地元の書店ならではの工夫が光る。実際に手に取れる、すぐに見えるという現場の書店の利点を生かし、時には料理本のような実用書の割合を増やすなど、消費者のニーズや流行に合わせて常に品揃えを変化させる。

「他店がやっていないこと」も積極的に試みている。30種類あるオリジナルのブックカバーには、長年付き合ひのあるキン・シオタニさんのイラストを採用し、関連グッズの展開も行う。地元の作家と連携してサイン会やフェアを店内で開催するなど、様々な活動を続ける。

「小さな書店ではお客さんの表情がよく分かる」。商店街と人々の流れを見つめ、今求められる本を提供し続ける。それが本を売る側にも買う側にも、魅力として映っているのだ。

BOOKSTORE

人類学



霊媒のいる街

北タイ、チェンマイの宗教復興

福浦一男 (文化人類学者)
人々は何を求め霊媒のもとへ通い、霊媒たちは何のために日々集まり踊るのか。詳細なフィールドワークにより、現代社会における民間宗教の役割を明らかにする。



〈紛争〉の比較民族誌

グローバル化におけるオセアニアの暴力、民族対立・政治的混乱
丹羽典生 (国立民族学博物館准教授) 編著
サモア、トンガ、フィジー、ニュージールランド: 「平和的な南太平洋」という神話はなぜ崩壊したか。オセアニア各国の政治的変動・諸問題を、詳細な事例により分析・考察する。



つなかりの民族誌

中国摩梭人の母系社会における「共生」への模索
金繩初美 (西南学院大学教授)
「走婚」と呼ばれる「妻問い婚」を今なお維持する中国少数民族「摩梭人」。「共生」という視点から社会と人々の意識の変化を捉え、母系社会構造の全体像を綿密に探る。

聖なる鉄琴スロニデンの民族誌

野澤暁子 (名古屋大学博士研究員)
ISBN 978-4-86110-440-4 ¥4700
Social Development, Culture, and Participation
阪本公美子 (宇都宮大学准教授)
ISBN 978-4-86110-174-8 ¥6476

ショー・パフォーマンスが立ち上がる

大門碧 (京都大学非常勤研究員)
ISBN 978-4-86110-449-7 ¥4500
誰が差別をつくるのかーエチオピアに生きるカファ・マンジシの関係誌
吉田早悠里 (名古屋大学特任助教)
ISBN 978-4-86110-402-2 ¥4900

ハワイ人とキリスト教ー文化の混濁とアイデンティティの再創造

井上昭洋 (天理大学准教授)
ISBN 978-4-86110-426-8 ¥2700
ハワイ人の贈り物ー北方狩猟民カスカと動物の自然誌
山口未花子 (岐阜大学助教)
ISBN 978-4-86110-383-4 ¥3200

Domino provincial en el Imperio Inca

渡部森哉 (南山大学准教授)
ISBN 978-4-86110-431-2 ¥4630
Estructura en los Andes Antiguos
渡部森哉 (南山大学准教授)
ISBN 978-4-86110-371-1 ¥5714

帝国医療と人類学
奥野克巳 (立教大学教授)
ISBN 978-4-86110-062-3 ¥2190

精霊の子供ーモロ諸島における憑依の民族誌
花淵馨也 (北海道医療大学准教授)
ISBN 978-4-86110-031-3 ¥6476

癒しと呪いの人類学 (第二版)
板垣明美 (横浜市立大学准教授)
ISBN 978-4-921146-86-3 ¥2800

グエトナムー変化する医療と儀礼
板垣明美 (横浜市立大学准教授) 編
ISBN 978-4-86110-145-8 ¥2381

来たるべき人類学 (全五巻)

シリーズ
1/セックスの人類学
奥野克巳・椎野若菜・竹ノ下祐二編
イルカやサルの性生活から、セックス儀礼、SM、性転換、ペニスピンまで、フィールドワークを通じて動物と人間の性に肉薄。その多様性に驚き、あきれ、考え込む。
ISBN 978-4-86110-180-9 ¥1905

2/経済からの脱出
織田竜也・深田淳太郎編
われわれは何に囚われているのか? 「危機」から経済の彼方へ。生命、市場、時間、貨幣、感情、宗教、贈与、古代、環境、プリコロラージュ。新たな知が、危機のなから姿を現す。
ISBN 978-4-86110-200-4 ¥2381

3/宗教の人類学
吉田匡典・石井美保・花淵馨也編
「理解」がたいのに、わたしたちに影のように寄り添っている「宗教」を解きほぐす。改宗、顕示的消費、憑依、呪物、アニミズムなどをフィールドから得た知見をもとに論じる。
ISBN 978-4-86110-247-9 ¥1905

4/アジアの人類学
片岡樹・シンジルト・山田仁史編
アジアの捉え方、フィールドワーク論から始まり、「焼酎」「牧畜」「狩猟採集」「漁撈」「モノ」「親族」「ネットワーク」「ヨーロッパの中のアジア」など、人類学の視点でアジアを捉える。
ISBN 978-4-86110-357-5 二刷 ¥2381

5/人と動物の人類学
奥野克巳・山口未花子・近藤社秋編
こんなに深く広い、人と動物の関係! ヘラジカと話す男、ゴリラに「なる」人間、狩猟者に身を捧げたウサギ: ペットや家畜としてだけでなく、多様な人と動物の関係を探る。
ISBN 978-4-86110-325-4 ¥2381

刊行予定

特別企画

コミュニケーション事典 編集委員: 伊藤守、小泉秀樹、三本松政之、似田貝香門、橋本和孝、長谷部弘、日高昭夫、吉原直樹 (二〇一六年二月)

▼随想 京都学派の歴史哲学 小野寺功▼新版 地の哲学 小野寺功▼仏教儀禮の研究 岩松浅夫▼よく生きるための死生観 岩崎大▼教えること

▼哲学の断章 北岡崇▼朝鮮儒学の巨匠たち 片岡龍監訳、朴福美訳▼ブーレ・マルクス庭園の美学 荒井芳廣訳▼立正哲学 (はたらく) (たのしむ) 立正大学文学部哲学科編▼キルケゴール 河上正秀▼幻想と怪奇の英文学 II 下楠昌哉、東雅夫編▼翻訳と倫理 静岡大学翻訳研究会▼キャサリン・マンズフィールドを読む 手塚裕子▼カポーティ小説の詩的特質 大園弘▼W・B・イェイツ 奥田良二▼Contemporary

▼Fishes Plays 佐竹晶子▼文学都市ダブリンゆかりの文学者たち 木村正俊編▼ポール・ボウルズ論 外山健二▼帝国と文化 江藤秀二編▼「土佐日記」の言説研究 佐藤美弥子▼左伝の女たち 尾崎保子▼荒野へII 中井農▼文学という名の愉楽 寒河江光徳▼母 立松昇一▼アグリナスに魅せられて 大月和彦、深田晋一▼ベオルフ 吉見昭徳▼イギリス文学における都市と身体 武田美保子▼中央ヨーロッパ 歴史と文学 桂元嗣▼ヨーロッパ文学を考える 小川公代、吉村和明、村田真一編▼原典対照ベール付フィンズブルグ闘争 読解 長谷川寛▼鎌倉三猫いまふたたび ソーントン不和直子▼フランス語名詞活用辞典 石川三千夫▼暮らした日本語 (スベイン語版) 長谷川哲子▼暗記嫌いのためのロジカル英語入門 佐藤美弥子▼日本語のポラリティ

▼ネス再考 笹川洋子▼視覚スキーマを用いた意味拡張機構づけの分析 栗田奈美▼自律のための教育学 大川洋▼薙刀と学校教育 井上アヤ子▼野の学校 佐々木光郎▼教育実践の昭和 横須賀薫▼絵本から「子ども福祉」を考える 青木文美▼真正な学力 渡部竜也▼現代中東政治学 末近浩太▼宗教紛争とコミュニタリズム 近藤光博▼中国興業銀行の崩壊とその再建 篠永宣孝▼経済学入門 木下富夫▼社会学的システム理論の軌跡 赤堀三郎▼エッセイ風都市社会学 吉瀬雄一▼ベトナム社会を読む 橋本和孝▼イラン人とは誰のことか 八尾師誠、坂梨祥、斎藤正道

▼北朝鮮からの引き揚げの記録 浅井亜紀子▼東亜連盟運動と石原莞爾 内村琢也▼戦後小樽の軌跡 内藤辰美、佐久間美穂▼韓国の地方民家 佐々木史郎▼アジア中心市街地再生の最前線 鈴木伸治▼益裁 川崎仁美▼杉原千蔵 小谷野裕子▼ミッドフォード 大西俊男▼親子とは何か 梅津綾子▼医療制度改革の比較政治 石垣千秋

春風掃人

井上ひさしがてんぷくトリオに書き下ろした笑劇を若手芸人が汗だくになって演じているのを伊東四朗が観、「あの汗はどういう汗でしようかね」とぼつりと語った。笑いの難しさを改めて思い知らされた。

このころ巷ではシロウトが席巻している。芸能界然り。独断で恐縮ながら、精進を惜しまぬひとの芸は、歌でも笑いで演技でも、何度聴いても見ても飽きず楽しいけれど、ちよここの個性がたま

たまウケ流行り、いつの間にか廃れてゆくものは四度で飽きる。学界また然り。一冊たまたま売れるとタレントまがい、これでもかというぐらいにつぎつぎ新書を出しつづけ、学者だか何だか見分けがつかなくなる人がいる。世に、ケータイ

小説というのがあるらしい。それと名のつくものを読んだことがないから分らないが、ネット上に、無料で読める小説を公開しているサイトもあるから、そのようなものか。ちがつていたらゴメンナサイ。芸能も学問も文学も、門戸は誰に向かっても開かれているけれど、伝統のなかで鍛えられるのは、作り手だけではないはず。作り手にとってこわいのは、無言の受け手だ。

春風新聞 第一八号 二〇一六年五月二〇日発行 発行者: 三浦衛 発行所: 春風社 印刷: シナノ書籍印刷 レイアウト: 矢萩多聞